

業務用アルコールインターロック データ解析アプリケーション

Zero Viewer 2.0

取扱説明書



東海電子株式会社

2014年2月版

この度は業務用アルコールインターロック ALC-ZERO/ALC-ZERO IIをお買いあげいただき誠にありがとうございます。ご利用に当たっては、本取扱説明書をよく読みご利用ください。

◇本書で使用する用語◇

【本製品】 「データ解析アプリケーション Zero Viewer」を指します。

【本機器】 業務用アルコールインターロック装置「ALC-ZERO」又は「ALC-ZERO II」を指します。

◇使用目的に関するご注意◇

本製品は、主に、バス、タクシー、トラック等の旅客運送、貨物運送事業者や、鉄道、その他交通関連企業、自社で車両を保有している一般法人企業を対象としたアルコールインターロック装置「ALC-ZERO」又は「ALC-ZERO II」で使用するデータ解析アプリケーションです。

旅客自動車運送事業運輸規則や貨物自動車運送事業輸送安全規則には、事業者の遵守事項として次のような事項が規定されています。

「事業者は、乗務しようとする運転手に対して点呼を行う際、疾病、飲酒、疲労、その他の理由により安全な運転をすることができないおそれの有無を確認し、安全確保のために必要な指示を与えなければならない」

本製品は、上記にあるような各事業者や車両使用者の安全確保の体制を助けるものであり、本製品が表す測定結果の取扱、具体的な運用方法、業務指示等は、各事業者様ごとに定められている社内服務規程や運行管理規則にゆだねられます。

また、道路交通法第 65 条には「酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と定められています。本製品による測定結果を、酒気帯び、酒酔い運転等、道路交通法上の違反行為を助けるための直接的な道具に使用したり、同じく酒気帯び、酒酔い運転等、違反行為を行っていないことの直接的な証明に使ったり、裁判等法的事実認定の判断材料として直接利用することはできません。製造業者および販売業者は、本機器を利用した、利用しないに関わらず、法的に認められない行為や損害に対し、一切の責任を負いません。

◇使用上のご注意◇

- 本製品の動作環境は Window OS 環境が導入されているPC（パーソナルコンピュータ）にて動作します。（対応OSのバージョンについては弊社サポート窓口又は担当営業までお問い合わせください）
- 本製品をPC（パーソナルコンピュータ）に導入する前に、念のためお客様でご利用中の他のアプリケーションデータのバックアップを行ってください。
- 本製品以外のアプリケーションデータの定期的なバックアップをお勧めします。
- 本製品を導入、使用したことによるPC（パーソナルコンピュータ）の不調、故障及び破損、又、データの喪失、データの破損についての責任は一切負いません。但し、弊社が不具合と認めた場合はこの限りではありません。

◇その他のご注意◇

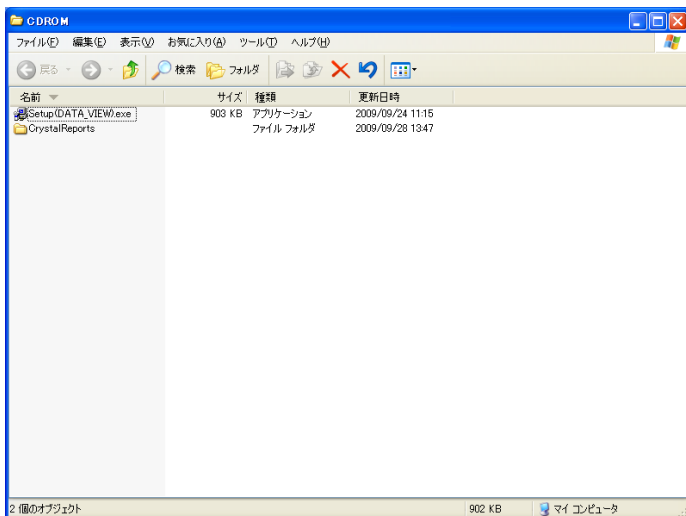
- 本書に記載された内容の一部、または全部を無断で転用、転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しまして、将来予告なく変更することがあります。
- 本製品および本説明書は日本国内仕様であり、海外での使用に対する責任は一切負いません。

◇目次◇

1. 初期セットアップ	5
2. ユーザ管理ツール	9
3. アプリケーションご使用の流れ	11
4. アプリケーションの使い方（データ取込・検索・履歴確認）	12
5. 運転解除検索とは	32
6. アプリケーションの使い方（入出力・設定・マスタ登録）	35
7. データの見方	52
8. 困ったときは	64

※機能拡張やレイアウト変更などのバージョンアップにより、実際の画面と異なる場合があります。

1. 初期セットアップ

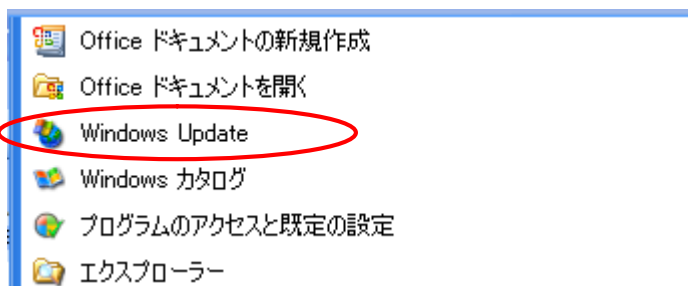


CD-ROM を開いて頂くと、CrystalReports というフォルダと本アプリケーションのセットアップの実行ファイルが表示されます。

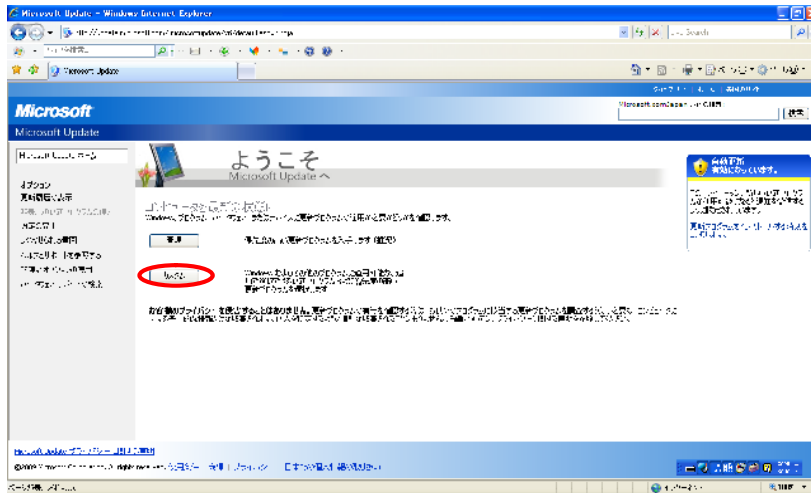
本アプリケーションをご使用するにあたり、下記のセットアップ手順にてセットアップを実行してください。

① .NetFramework のインストール

本アプリケーションでは、Microsoft .NetFramework3.5 以降に対応しております。お客様が既に.NetFramework 環境をお持ちの場合は、②へお進み下さい。

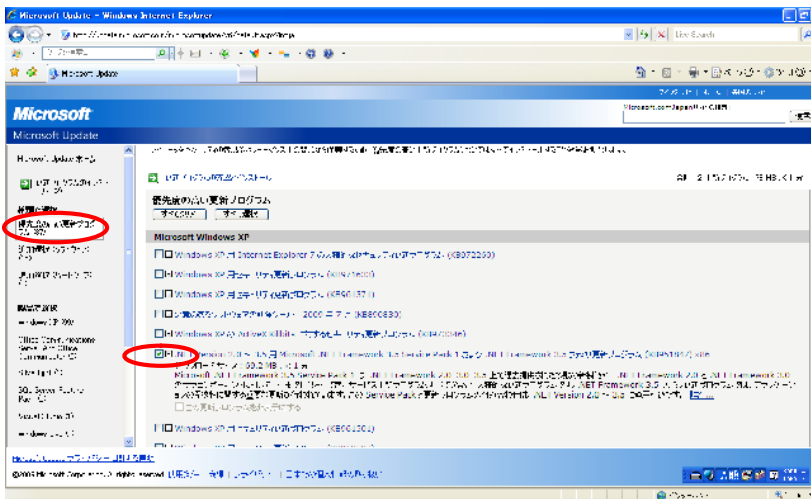


スタートメニュー
→ すべてのプログラム
→ WindowsUpdate を選択します。

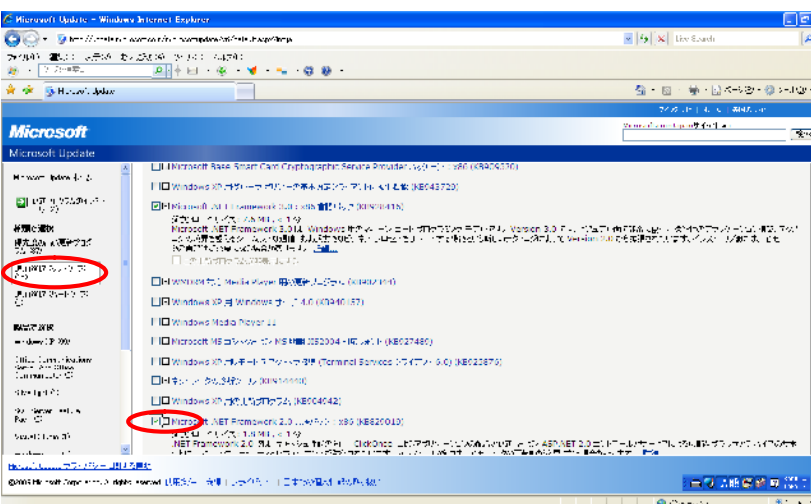


WindowsUpdate の画面が表示されたら、“カスタム”を選択します。

※お客様の慣用により適宜ご選択下さい。



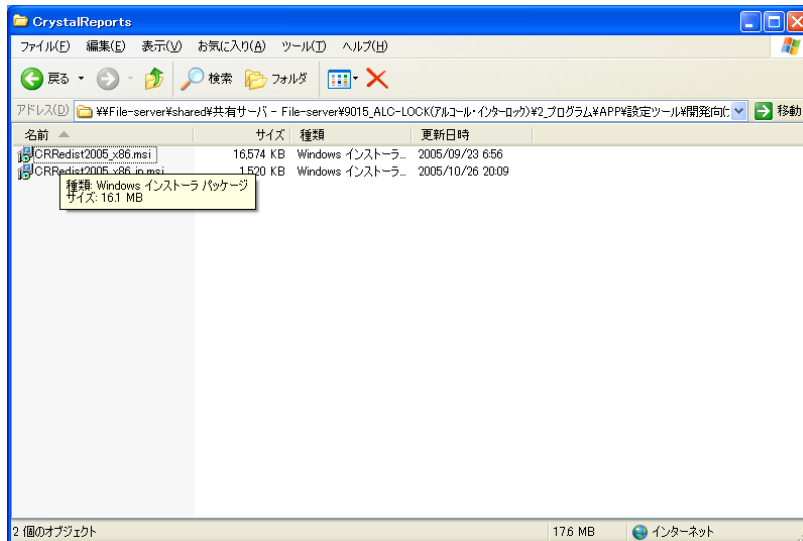
“優先度の高い更新プログラム”の中から .NetFramework2.0以降を選択します。



同様に“追加選択(ソフトウェア)”の中から .NetFramework の言語パック(日本語)を選択します。

※お客様の PC 環境により選択可能な .NetFramework 言語パックが複数存在する可能性があります。

② CrystalReports(帳票出力用ライブラリ)のインストール



CD-ROM 内にある CrystalReports フォルダを開いてください。そうすると下記のファイルがあります。

CRRedist2005_x86.msi

CRRedist2005_x86jp.msi

これを上から順に実行し、Next ボタンを押して2つともインストールします。

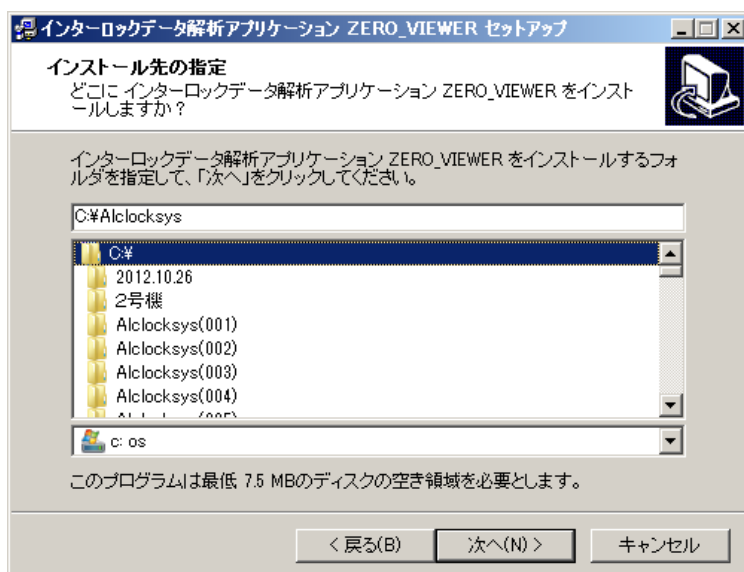
③ 本アプリケーションのインストール



CD-ROM 内の Setup(VIEWER_2.01.001B).exe を起動します。

すると、インストールが開始されますので“次へ” ボタンを押し、インストールを進行してください。

次にインストール先のフォルダを選択します。
お客様の環境により適宜変更してください。



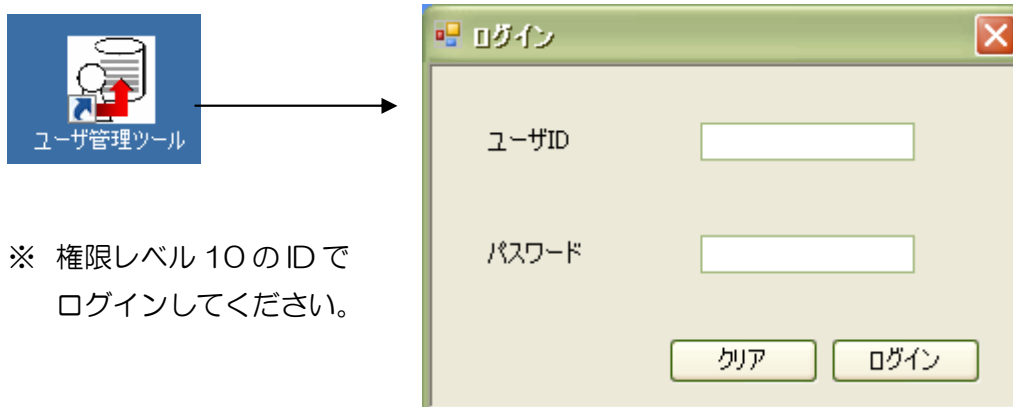
※設定ツールと同じフォルダにインストールしていただくと、ユーザ情報の共有が可能になります。

以降は同様に“次へ”ボタンを押し、イベント管理システムのインストールを完了させてください。

2. ユーザ管理ツール

アルコールインターロックでは、メンテナンスツールキットを使用して、運用や車両に合わせて機器の設定や変更を行ったり、車両の挙動に関する記録を保存・閲覧したりすることができます。ユーザ登録ツールとは、決まった権限者だけが変更や閲覧を行えるよう、メンテナンスユニットの使用権限とユーザを作成するソフトウェアツールです。

- ① デスクトップ上のショートカットからアプリケーションを起動します。



※ 権限レベル 10 の ID で
ログインしてください。

- ② 「ユーザ編集メニュー」画面が開きます。追加ボタンを押してください。



③ 「ユーザ登録画面」が開きます。更新ボタンを押してください。

ユーザ登録

ユーザID: 1001 (任意の半角数字を入れてください。(8桁))

パスワード: 9001 (任意の半角英数字を入れてください。(20桁))

ユーザ名称: 富士営業所長 (任意の文字を入れてください。(20桁))

権限レベル: 10 (0~10までの間で権限の値(後述)を選択してください。)

クリア 更新 (更新ボタンを押してください)

確認

更新します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

更新完了

更新が完了しました。

OK

ユーザ編集メニュー

検索条件

- ユーザID
- ユーザ名称

クリア 検索

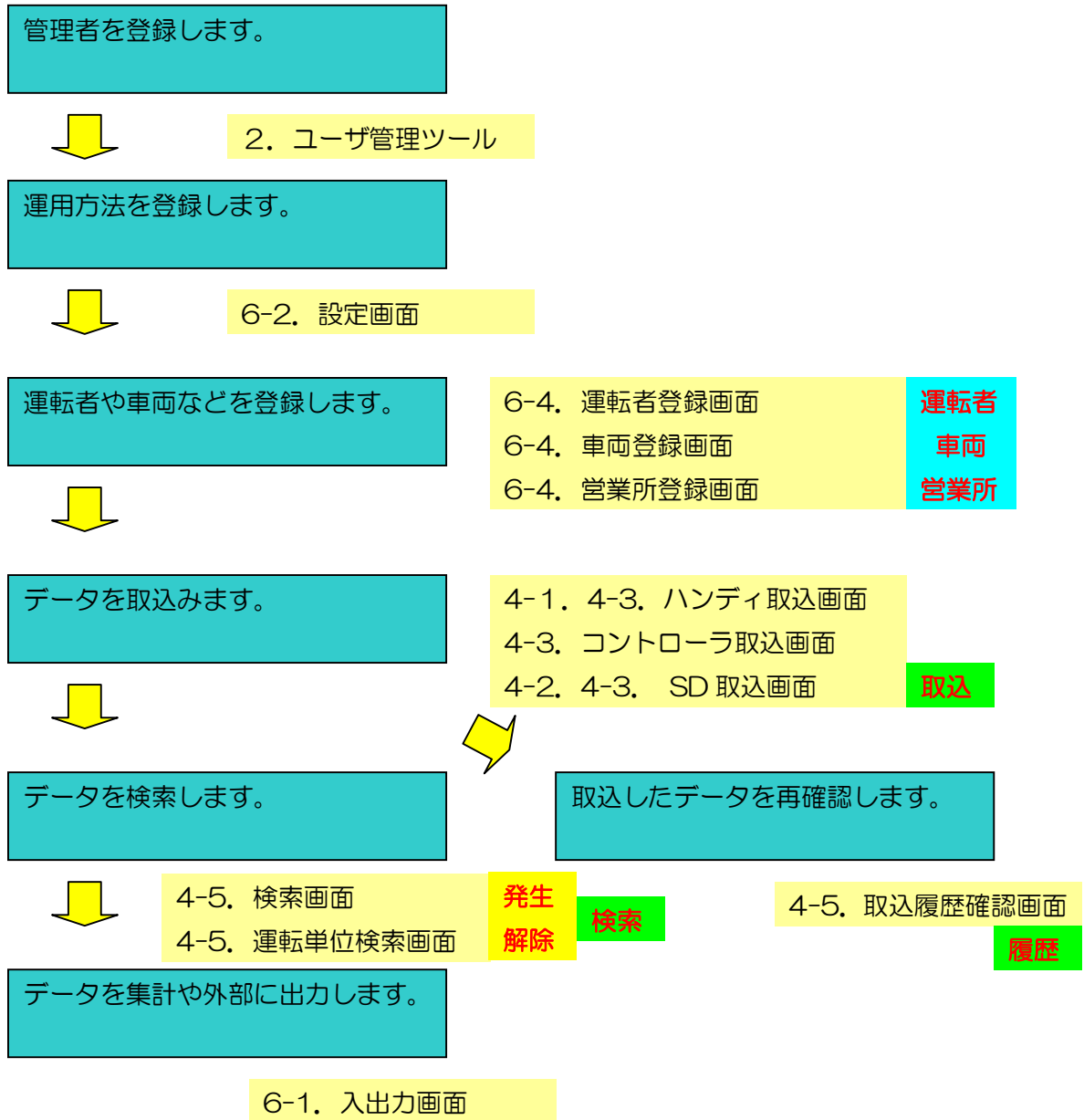
	ユーザID	パスワード	ユーザ名称	権限レベル
	1	1111	監査一郎	10
	2	2222	総務太郎	8
	3	1010	富士一郎(所長)	10
	4	4444	静岡太郎(運行管理責任者)	9
	1001	9001	富士営業所長	10

編集 削除 追加

登録されていることを確認してください。

完了後、×ボタンでアプリケーションを終了してください。

3. アプリケーションご使用の流れ



データ解析アプリケーションには、2つの表示方法があります。

出力されたデータをそのまま閲覧できる

発生単位表示

測定や非常スイッチなどの単位で閲覧できる

運転解除単位表示

機能の説明では、利用できる表示方法を **発生解除** で表示しています

くわしくは、「5. 運転解除検索とは」を参照してください。

4. アプリケーションの使い方（データ取込・検索・履歴確認）

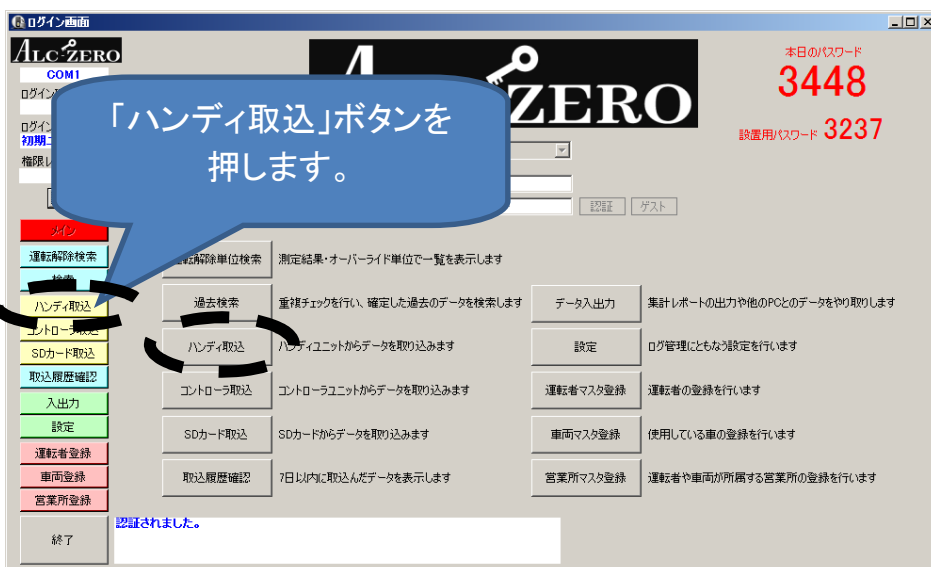
4-1. ハンディユニットからのデータ取込み方法（概略）



デスクトップ上のショートカットからアプリケーションを起動します。



ユーザIDとパスワードでシステムへログインします。

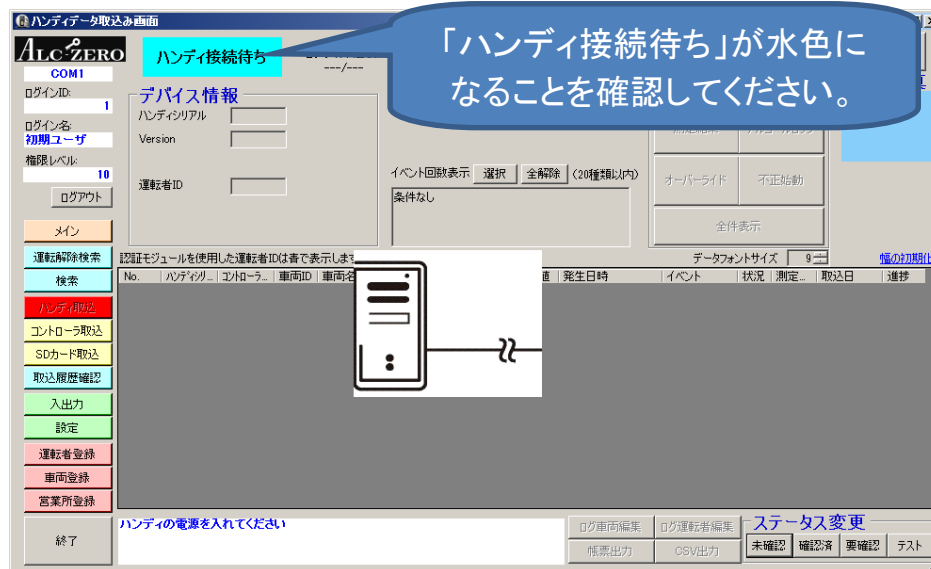


「ハンディ取込」ボタンを押します。

過去検索	重複チェックを行い、確定した過去のデータを検索します	データ入出力	集計レポートの出力や他のPCとのデータをやり取りします
ハンディ取込	ハンディユニットからデータを取り込みます	設定	ログ管理にもなる設定を行います
コントローラ取込	コントローラユニットからデータを取り込みます	運転者マスタ登録	運転者の登録を行います
SDカード取込	SDカードからデータを取り込みます	車両マスタ登録	使用している車の登録を行います
取込履歴確認	7日以内に取込んだデータを表示します	営業所マスタ登録	運転者や車両が所属する営業所の登録を行います

認証されました。

ハンディユニットをメンテナンスユニットと接続し、データを取込みます。



①メンテナンスユニットのケーブルを、車両から持ち帰ったハンディユニットへ差し込みます。

②メンテナンスユニットの電源が入っていることを確認してください。

③ケーブルを差したらハンディユニットの電源ボタンを1回だけ押してください。



注意 ハンディユニットの電源は自動では切れません。ケーブルを繋いだまま再度接続する場合、メンテナンスツールキットの電源（赤いPowerスイッチ）を一旦切断してください。

運転者 ID を入力または、選択してください

ID	名称
1	東海 次郎
2	東海 次郎
3	東海 三郎

リストをダブルクリックして選択することもできます。

ハンディユニットからデータをダウンロードします。

ハンディ接続中

ログサイズ(目安) 0件/15件

ダウンロード開始

接続解除

ダウンロードボタン抽出

ダウンロード結果

アルコールロック

終了

ハンディユニットのボタンを押したとき、PCの画面が接続中になったら接続成功です。

「ダウンロード開始」ボタンを押すと、データ取込みがはじまります。

データを取り込んでいます。

データ処理中

ダウンロード中

処理中(少々お待ちください)

33% / 100%

中止

ハンディユニットから取込まれたインターロックデータを確認します。

インターロックデータが取り込まれました。

接続解除ボタンを押して、ハンディユニットを外してください。

No.	ハンディID	コントローラ	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時	イベント	状況	測定	取込日	進捗
21794	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:31:19	ハンディ離脱	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21795	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:25	ハンディ装着	⇒		2012/12/05	未確認
21796	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:27	ハードオーバー...	⇒		2012/12/05	未確認
21797	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:30	ハードオーバー...	⇒		2012/12/05	未確認
21798	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:40	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21799	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎	0.000	2012/12/05 10:47:11	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21800	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:47:36	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21801	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:48:33	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21802	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:48:54	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21803	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:50:04	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

データのダウンロードが終了しました。

ログ車両編集 ログ運転者編集 ステータス変更
帳票出力 CSV出力 未確認 確認済 要確認 テスト

取込を行ったデータを確認します。

アルコールでロックされたデータや不正始動等、重要なデータをワンボタンで見ることができます。

「検索」ボタンを押してください。重複したデータ等を削除していますので、こちらでデータ解析ができます。

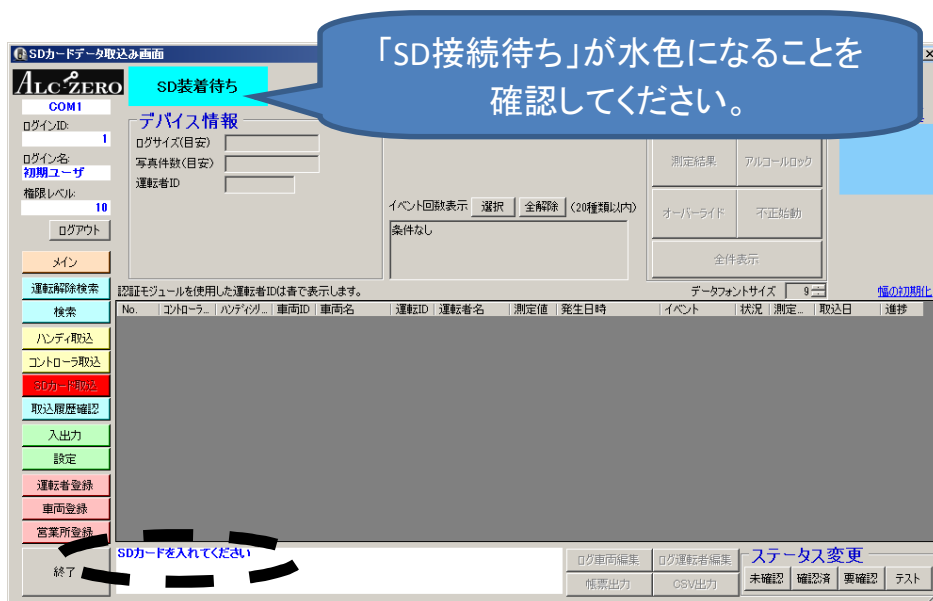
車両や運転者を後からでも編集することができます。

No.	ハンディID	コントローラ	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時	イベント	状況	測定	取込日	進捗
21794	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:31:19	ハンディ離脱	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21795	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:25	ハンディ装着	⇒		2012/12/05	未確認
21796	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:27	ハードオーバー...	⇒		2012/12/05	未確認
21797	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:30	ハードオーバー...	⇒		2012/12/05	未確認
21798	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:46:40	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21799	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎	0.000	2012/12/05 10:47:11	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21800	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:47:36	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21801	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:48:33	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21802	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:48:54	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21803	0003311	0051234	1	東京 あ 123...	1	東海 太郎		2012/12/05 10:50:04	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

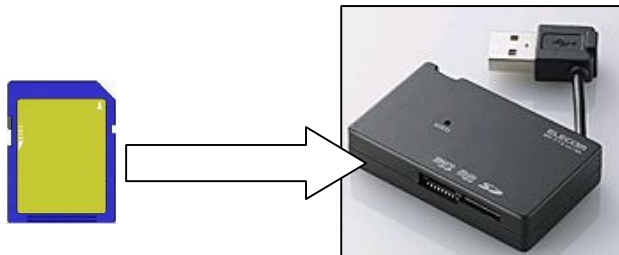
ワンボタン抽出
測定結果 アルコールロック
オーバーライド 不正始動
全件表示

ログ車両編集 ログ運転者編集 ステータス変更
帳票出力 CSV出力 未確認 確認済 要確認 テスト

4-2. SD カードからのデータ取込み方法（概略）

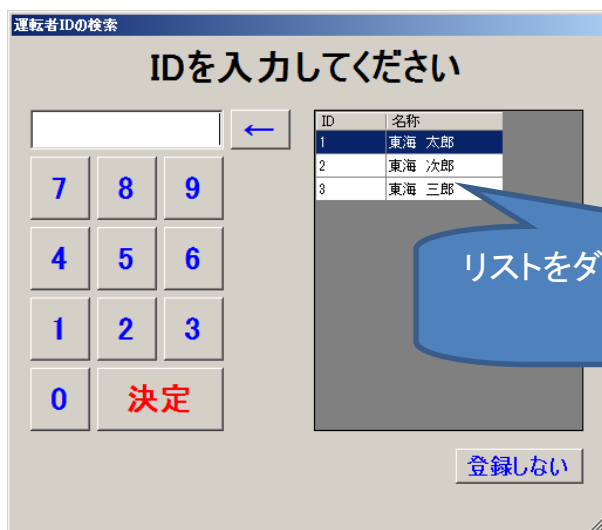


SD カードを装着します



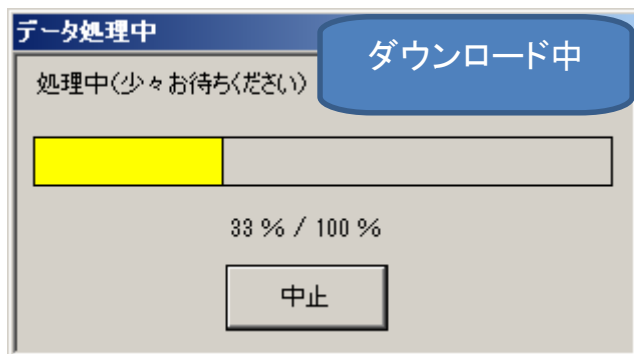
実際のカードリーダーとは異なる場合があります。

運転者の ID を入力または、選択してください



※SD カードに ID を登録しておき、入力を省略することもできます。

データを取り込んでいます。



SDカードから取込まれたインターロックデータを確認します。

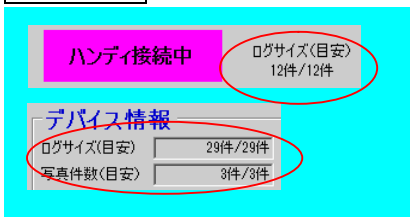
No.	コントローラ	ハンディック	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時	イベント	状況	測定	取込日	進捗
								2012/12/05 10:59:41	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								05 11:00:13	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								05 11:00:34	ハンディック	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								05 11:01:20	スタートアップ	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								05 11:01:42	ハンディック	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								05 11:01:50	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								05 11:02:23	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								12/05 11:02:30	測定催促時	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								2012/12/05 11:02:49	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								2012/12/05 11:03:30	運転中撮影	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								2012/12/05 11:03:50	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

取込を行ったデータを確認します。

No.	コントローラ	ハンディック	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時	イベント	状況	測定	取込日	進捗
								2012/05 11:02:23	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								2012/05 11:02:30	測定催促時	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								2012/05 11:02:49	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								12/05 11:03:30	運転中撮影	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
								12/05 11:03:50	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

4-3. 取込画面の基本機能・表示内容説明

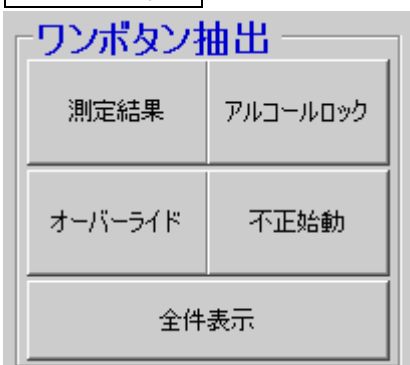
ログサイズ



検索 取込 履歴 発生 解除

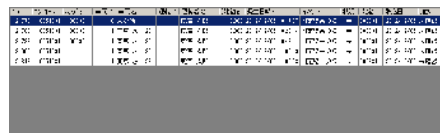
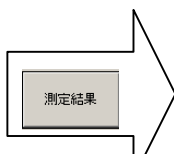
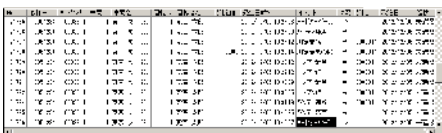
ユニットまたは、SD カードに保存されている、データの容量です。イベントによって1件分に収まらない情報量の場合や、表示されない保守用などのシステムログも含まれるため、取込後に表示される件数とは一致しません。SD カードは、写真管理ファイル数も表示されます。

ワンボタン抽出



検索 取込 履歴 発生 解除

表示されているイベントログの中から、選択したデータのみを抽出して表示します。全件表示ボタンを押した場合、取込直後（検索画面の場合は、検索をかけた直後）のデータを表示します。

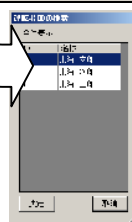
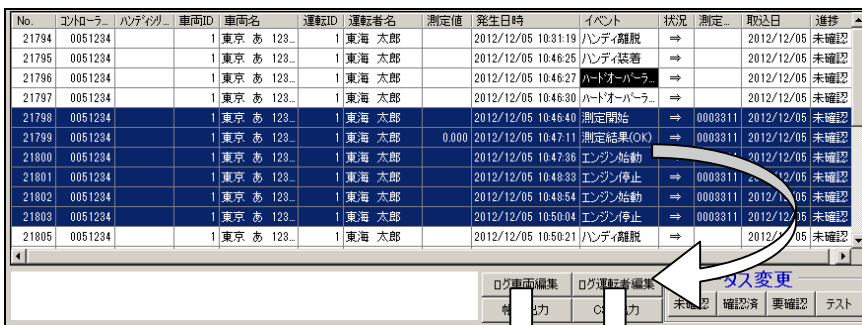


測定結果だけを確認！！

ログ車両編集・ログ運転者編集

検索 取込 履歴 発生 解除

運転者や車両がまだ登録されていない、または実際とは異なる内容で登録されている場合に使用します。あらかじめ編集したいデータを選択してからボタンを押してください



編集したい内容をクリックしてください

ステータス変更

検索 取込 履歴

発生 解除

各データの進捗ステータスの内容を更新します。

あらかじめ編集したいデータを選択してからボタンを押してください

No.	エトロー	ハンディ	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時	イベント	状況	測定	取込日	進捗
21794	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:31:19	ハンディ離脱	⇒		2012/12/05	未確認
21795	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:25	ハンディ装着	⇒		2012/12/05	未確認
21796	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:27	ハードオーバー	⇒		2012/12/05	未確認
21797	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:30	ハードオーバー	⇒		2012/12/05	未確認
21798	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:40	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21799	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 10:47:11	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21800	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:47:36	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21801	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:48:33	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21802	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:48:54	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21803	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:50:04	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21805	0051234		1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:50:21	ハンディ離脱	⇒		2012/12/05	未確認

ログ車両編集 ログ運転者編集 ステータス変更
帳票出力 CSV出力 未確認 確認済 要確認 テスト

権限レベルによっては、テストステータスへの更新ができないことがあります。

!! データの編集は、意図しないデータを修正するのを防ぐため、発生単位・運転解除単位のどちらかに統一していただくようお願いします。

発生単位で編集を行った内容を、運転分析単位に反映するには、再度変換しなおす必要があります。(検索画面から再取込を参照してください)

進捗ステータスは目印の意味で作成しているため、特に正式な使用方法はございません(*)が、下記の方法を意識して設計しています。

項目	内容
未確認	新着のデータ
確認済	確認の終わったデータ
要確認	再度見直さなければならないデータ
テスト	設置時のデータなど、運用とは関係のないデータ

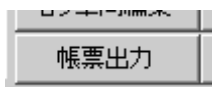
* テストのステータスは、その意味から、テストデータを条件に含めない場合は、検索画面では検索されません。また、集計レポートの統計対象から外れます。

詳しくは、検索のページ、入出力のページをご参照ください。

※ 前のバージョンでは、ステータスごとにデータの保存期間がありましたが、この機能は削除いたしました。(データの保管方法を見直したため、保存期間は今までより長くできるようになりました)

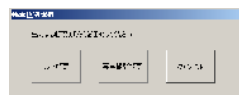
帳票出力

検索 取込 履歴 発生 解除



画面に表示されているデータを帳票に出力します。

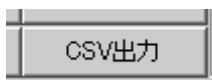
複数の帳票レイアウトが存在する場合は、帳票の種類を選択するダイアログを表示します。



運転解除単位表示で、発生単位の写真付帳票を出力した場合、作成元になった発生単位のデータの中から撮影に成功した写真のデータのみが帳票に出力されます。

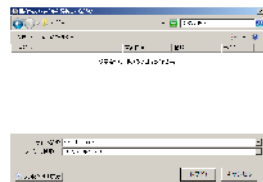
CSV出力

検索 取込 履歴 発生 解除



画面に表示されているデータを CSV に出力します。

CSV の保存先とファイル名を入力し、保存ボタンを押してください。
(お客様のご使用の環境により、画面が異なる場合があります。)



初期ファイル名は「EventData.csv」です。

CSV のフォーマットについて

発生単位表示				
No	項目名	最大文字数	形式	備考
1	コントローラシリアル	7文字	半角数字のみ 先頭ゼロ埋め	
2	(取込)ハンディシリアル	7文字	半角数字のみ 先頭ゼロ埋め	ハンディ以外からの取込は、空白
3	車両 ID	8文字	半角数字のみ	未登録の場合は、0
4	車両名	20文字	全角半角	未登録：登録したことがない場合 登録なし：マスタから削除した場合
5	運転者 ID	8文字	半角数字のみ	未登録の場合は、0
6	運転者名	20文字	全角半角	[空白]:登録したことがない場合 登録なし：マスタから削除した場合
7	測定値	5文字	N.NNN	測定結果がない場合は、空白
8	発生日時	19文字	YYYY/MM/DD [半角 SP] HH/MM/SS	時刻不正：時刻が読取れなかった場合

9	イベント名称	30文字	全角半角	
10	(測定)ハンディシリアル	7文字	半角数字のみ 先頭ゼロ埋め	測定によらないイベントは空白
11	取込日	19文字	YYYY/MM/DD	初回に取込んだ日付
12	進捗	4文字	未確認・確認済・ 要確認・テスト・ 写真注意	

※ ハンディユニットから取込んだ場合は、画面上は(取込)ハンディシリアルが先頭にきていますが、統一するためCSVにはコントローラシリアルが先に出力されます。

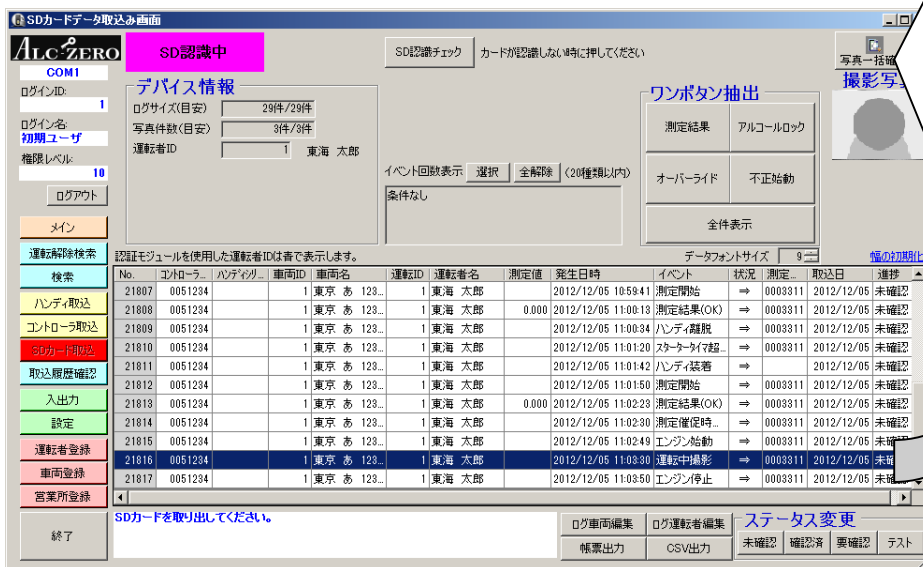
運転解除単位表示				
No	項目名	最大文字数	形式	備考
1	車両ID	8文字	半角数字のみ	未登録の場合は、0
2	車両名	20文字	全角半角	未登録：登録したことがない場合 登録なし：マスタから削除した場合
3	運転者ID	8文字	半角数字のみ	未登録の場合は、0
4	運転者名	20文字	全角半角	[空白]:登録したことがない場合 登録なし：マスタから削除した場合
5	イベント略称・測定結果	5文字	全角半角または N.NNN	
6	測定(解除)時間	19文字	YYYY/MM/DD [半角SP] HH/MM/SS	時刻不正：時刻が読取れなかった場合
7	解除終了時間	19文字	YYYY/MM/DD [半角SP] HH/MM/SS	時刻不正：時刻が読取れなかった場合 空白：変換データが揃っていないとき
8	運転撮影回数	6文字	N回	撮影しなかった場合は、空白
9	(測定)ハンディシリアル	7文字	半角数字のみ 先頭ゼロ埋め	測定によらないイベントは空白
10	コントローラシリアル	7文字	半角数字のみ 先頭ゼロ埋め	
11	特記事項	未定	全角半角	機能追加により変動
12	進捗	4文字	未確認・確認済・ 要確認・テスト・ 写真注意	

写真一括確認

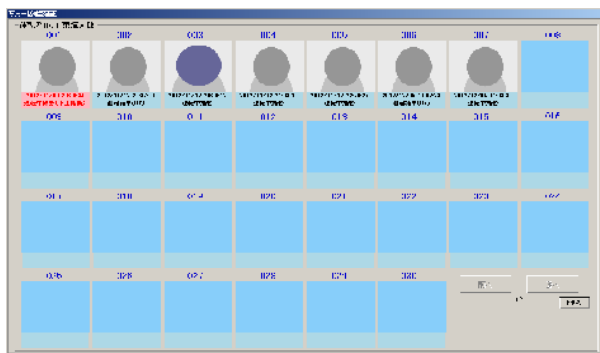
検索 取込 履歴 発生 解除

画面に表示されているデータの中から撮影に成功したデータのみを取り出して、1つの画面上で本人確認を行うための機能です。

この機能を使用する前に、あらかじめ運転者の登録を完了させてください。



確認したい運転者が登録されているデータにカーソルを合わせて、写真一括確認ボタンを押してください。(写真がついていないデータであってもかまいません。)



測定ログ・運転中写真ログの中から、撮影に成功したデータのみを表示します。

(ハンディユニットからログを取得した場合など、まだ写真が取り込まれていない場合は、空白で表示されます。)

運転中写真については、不正始動(非常スイッチなどによる運転)の場合は、赤字で表示します。

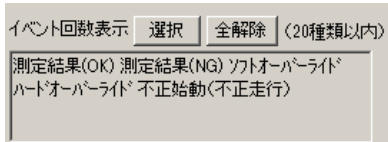
枠の部分をクリックすると、注意マークを設定することができます(再度クリックすると消えます)。ここでマークをつけておくと、データの状況欄が「写真注意」の表示に変わります。



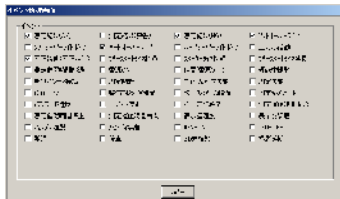
イベント回数表示

検索 取込 履歴 発生 解除

データ取込が完了した際に、あらかじめ選択したイベントの回数を表示します。これによりチェックした内容がどのくらい行われたかをチェックすることができます。



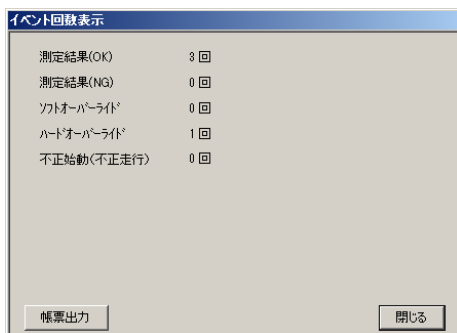
「選択」ボタンを押して、チェックしたい内容を選択してください。最大 20 項目まで選択することができます。(バージョンや設定によって、左記画面に表示されるイベントは異なります)。



選択した内容は、画面を移動しても、削除されません。

「全解除」ボタンを押すと、選択された内容が全て解除されますので、ご注意ください。

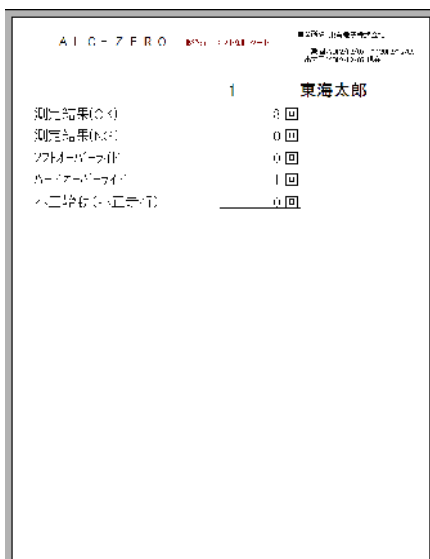
取込が完了すると、下記画面が表示されます。



設定画面で、「注意項目警告」を再生するに設定すると、1回以上発生したイベントがあると音声がかかります。

取込履歴検索画面でも、表示することができます。詳しくは「検索条件表示欄<取込日(履歴画面)>」についての項目をご参照ください。

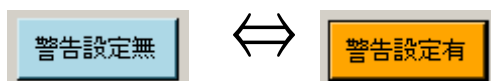
帳票出力ボタンを押すと、表示している内容を印刷することができます。



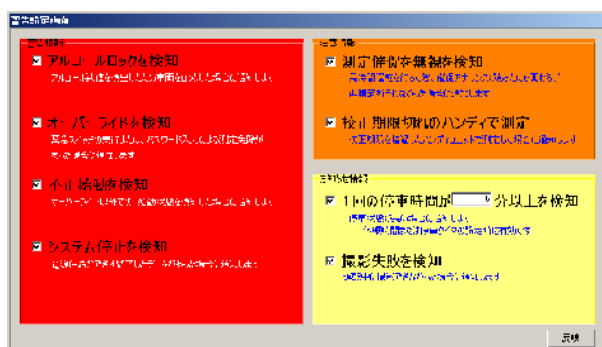
警告設定表示

検索 取込 履歴 発生 解除

あらかじめ登録していた条件に一致したデータが見つかった場合、警告メッセージを表示します。

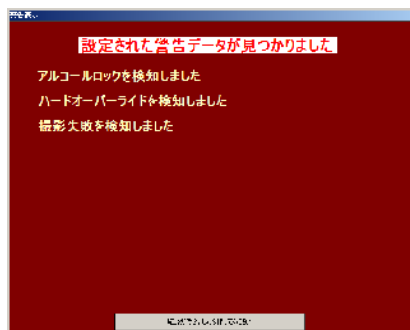


取込画面にある警告設定ボタンを押すことによって、設定画面を開きます。1つでも設定があれば、ボタンの色がオレンジ色になります。



設定画面の設定などにより、表示される内容は異なります。

設定した内容のログを取込むと下記のような画面が表示されます



設定画面で、「注意項目警告」を再生するに設定すると、画面表示とともに音声流れます。

取込履歴検索画面でも、表示することができます。詳しくは「検索条件表示欄<取込日(履歴画面)>」についての項目をご参照ください。

データ表示欄<発生単位の状況「⇒」>

検索 取込 履歴 発生 解除

選択したイベントが発生した時点の細かい情報を表示します。

No.	ハンドル	コノロー	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時	イベント	状況	測定	取込日	進捗
21794	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:31:19	ハンドル離脱	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21795	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:25	ハンドル装着	⇒		2012/12/05	未確認
21796	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:27	ハードオーバー	⇒		2012/12/05	未確認
21797	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:30	ハードオーバー	⇒		2012/12/05	未確認
21798	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:46:40	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21799	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 10:47:11	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21800	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:47:26	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21801	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:48:33	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21802	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:48:54	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21803	0003311	0051234	1	東京 赤 123	1	東海 次郎		2012/12/05 10:50:04	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

白帯の部分表示される内容は、イベントごとに異なります

画面を開いたまま、カーソルを移動すると、移動した行の情報に切り替わります。

上方部の項目については、「7-3. 状況メッセージについて」をご参照ください。

データ表示欄<運転解除単位の詳細「⇒」>

検索 取込 履歴 発生 解除

データをまとめるのに使用した発生単位のログを表示します。記録の流れがわかります。

INDEX	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	測定解除時間*	運転終了時間	運転撮影	測定ID	コノロー	詳細	特記事項	進捗
1029	0	未登録	0		不正始	2012/12/04 18:29:04	2012/12/04 18:29:16		0003311	0051234	⇒		未確認
1030	0	未登録	0		ハード	2012/12/05 10:09:59	2012/12/05 10:12:55			0051234	⇒		未確認
1031	0	未登録	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 10:17:07	2012/12/05 10:19:55		0003311	0051234	⇒		未確認
1032	1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 10:27:23	2012/12/05 10:27:23			0051234	⇒		未確認
1033	1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 10:28:14	2012/12/05 10:30:56		0003311	0051234	⇒		未確認
1034	1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 10:46:27	2012/12/05 10:46:30			0051234	⇒		未確認
1035	1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 10:47:11	2012/12/05 10:50:09		0003311	0051234	⇒	写真撮影	未確認
1036	1	東京 赤 123	2	東海 次郎	0.000	2012/12/05 11:00:13	2012/12/05 11:01:20		0003311	0051234	⇒		未確認
1037	1	東京 赤 123	2	東海 次郎	0.000	2012/12/05 11:02:23	2012/12/05 11:03:51	回	0003311	0051234	⇒		未確認
1038	1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.000	2012/12/05 17:41:14	2012/12/05 17:42:21		0003311	0051234	⇒		未確認
1039	1	東京 赤 123	1	東海 次郎	0.078	2012/12/05 17:51:51	2012/12/05 17:51:51		0003311	0051234	⇒		未確認

表示されている発生単位のデータの「⇒」をクリックすると、発生単位の状況画面が表示されます。

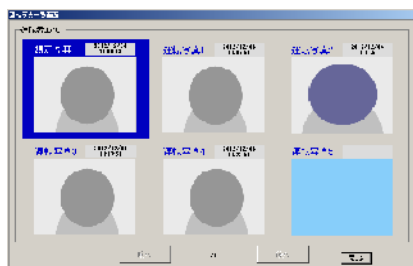
画面を開いたまま、カーソルを移動すると、移動した行の情報に切り替わります。

データ表示欄< 運転解除単位の「運転撮影回数」 > **検索** **取込** **履歴** **発生** **解除**

運転撮影の回数をクリックすると、解除中に撮影した写真を全て表示します。

2枚以上の写真があった場合にご使用ください。

INDEX	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	測定解除時間*	運転終了時間	運転撮影	測定バス	コントローラ	詳細	特記事項	進捗
1029	0	未登録	0		不正値	2012/12/04 18:29:04	2012/12/04 18:29:16		0003811	0051234	⇒		未確認
1030	0	未登録	0		ハード	2012/12/05 10:09:59	2012/12/05 10:12:55			0051234	⇒		未確認
1031	0	未登録	1	東海太郎	0.000	2012/12/05 10:17:07	2012/12/05 10:19:55		0003811	0051234	⇒		未確認
1032	1	東京 あ 123..	1	東海太郎	ハード	2012/12/05 10:27:29	2012/12/05 10:27:28			0051234	⇒		未確認
1033	1	東京 あ 123..	1	東海太郎	0.000	2012/12/05 10:28:14	2012/12/05 10:30:56		0003811	0051234	⇒		未確認
1034	1	東京 あ 123..	1	東海太郎	ハード	2012/12/05 10:46:27	2012/12/05 10:46:30			0051234	⇒		未確認
1035	1	東京 あ 123..	1	東海太郎	0.000	2012/12/05 10:47:11	2012/12/05 10:50:09		0003811	0051234	⇒	写真撮影..	未確認
1036	1	東京 あ 123..	2	東海 次郎	0.000	2012/12/05 11:00:13	2012/12/05 11:01:20		0003811	0051234	⇒		未確認
1037	1	東京 あ 123..	2	東海 次郎	0.000	2012/12/05 11:03:13	2012/12/05 11:03:51		0003811	0051234	⇒		未確認
1038	1	東京 あ 123..	1	東海太郎	0.000	2012/12/05 17:41:14	2012/12/05 17:42:21		0003811	0051234	⇒		未確認
1039	1	東京 あ 123..	1	東海太郎	0.078	2012/12/05 17:51:51	2012/12/05 17:51:51		0003811	0051234	⇒		未確認



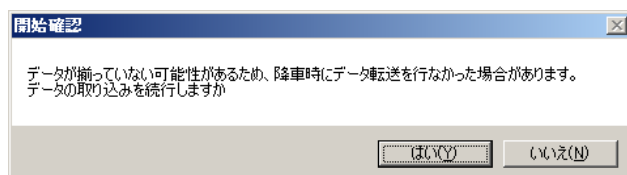
測定写真が存在する場合は、左上に常に表示します。

運転中の写真が5枚を超えた場合は、次へボタンを押すと、次の5枚を表示します。

画面を開いたまま、カーソルを移動すると、移動した行の写真に切り替わります。

データ転送漏れ防止機能 (SD 取込のみ)

検索 **取込** **履歴** **発生** **解除**



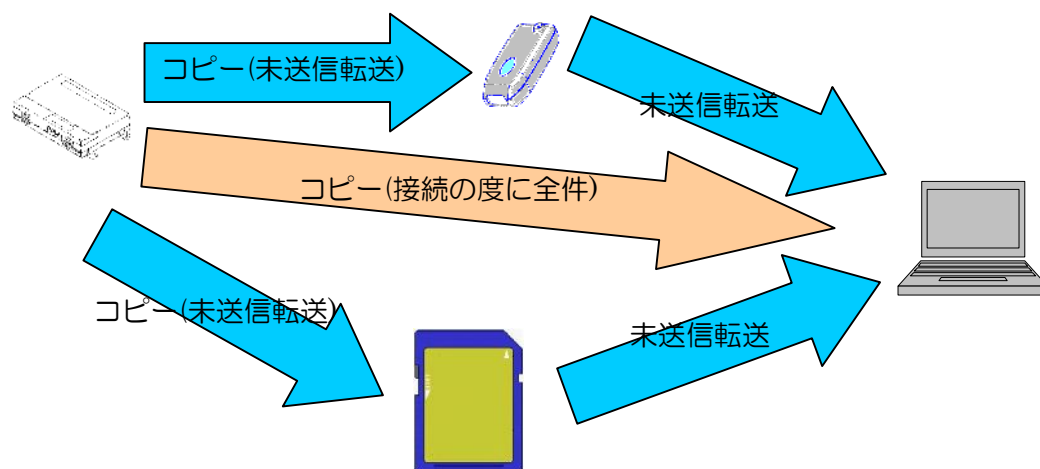
SD カードを接続した時に、上記ダイアログが表示される場合があります。

これは、最後の測定後、データ転送が行われないまま SD カードを取り外したことが判断できた場合に表示されます。「いいえ」を選択すると、データは取込まれませんので、車両でデータ転送を行ってから再度取込みをおこなってください。

この機能が検知できるのは、最後の測定のみです。途中の乗換時などに転送しなかった場合は検知できません。また運転内容によっては、検知できない場合もあります。

※ データの保存について

ハンディユニット・SDカードにあるデータはPCに取込むと再度転送されなくなります。ただし、コントローラユニットに保存されているデータはバックアップの意味を兼ねているためハンディユニットやSDカードへデータ転送や、PCに取込みを行ってもデータ常に最初から転送されます。もし、破損や校正での返却などでデータを紛失した場合でも、コントローラユニットには必ずデータは保存されています。（※写真データはSDカードのみ）



4-4. データの検索方法（概略）

過去検索画面

ALC ZERO 検索条件

イベント 選択 全解除

測定結果(OK)

測定結果 アリコールロック

オーバーライド 不正始動

全件表示

検索したい条件を入力します

検索実行

進捗ステータス 全件 未確認 要確認 確認済 テストデータ

運転解除検索
ハンディ取込
ユニット取込
SDカード取込
取込履歴確認
入出力
設定
運転者登録
車両登録
営業所登録

終了

ログ車両編集 ログ運転者編集 ステータス変更
帳票出力 CSV出力 未確認 確認済 要確認 テスト

過去検索画面

ALC ZERO 検索条件

イベント 選択 全解除

測定結果(OK)

測定結果 アリコールロック

オーバーライド 不正始動

全件表示

① 検索実行ボタンを押します
(取込履歴確認画面は確認ボタン)

検索実行

進捗ステータス 全件 未確認 要確認 確認済 テストデータ

運転解除検索
ハンディ取込
ユニット取込
SDカード取込
取込履歴確認
入出力
設定
運転者登録
車両登録
営業所登録

終了

ログ車両編集 ログ運転者編集 ステータス変更
帳票出力 CSV出力 未確認 確認済 要確認 テスト

No.	ユニットローラ	ハンディアル	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時*	イベント	状況	測定ハデイ	取込日	進捗
1293	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/07 08:20:22	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1317	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/07 18:11:54	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1328	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/08 08:20:30	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1348	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/08 18:49:43	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1378	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/09 08:20:47	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1404	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/09 18:10:23	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1434	9000002		0	未登録	1	東海六郎	0.000	2012/11/12 20:37:01	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1451	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/13 18:27:30	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1461	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/13 18:27:30	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1467	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/13 18:33:43	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認
1480	9000002		0	未登録	0		0.000	2012/11/13 18:33:43	測定結果(OK)	⇒	0000753	2012/12/04	未確認

39件のデータが検索されました。

4-5. 検索画面・履歴画面の基本機能・表示内容説明

検索するにあたって、次の条件があります。

- 1 回に検索できるデータは 10000 件までです。
設定画面で、50000 件・100000 件に設定を変更することはできますが、PC スペックなどによっては、膨大な時間を要する場合があります。
- 1 ヶ月を超える範囲で検索することはできません。
- 1 年を超えたデータは検索できません。
設定画面で、最長 3 年まで延長することができます。
- 取込履歴画面では、取込から 1 週間を過ぎたデータは削除されます。
(検索画面で検索できます。)
- 取込履歴画面ではデータの編集はできません。検索画面より編集してください。

下記の機能については、「3-3. 取込画面の基本機能・表示内容説明」を参照ください。

- ワンボタン抽出
- ログ車両編集・ログ運転者編集
- ステータス変更
- 帳票出力
- CSV 出力
- 写真一括確認
- データ表示欄<発生単位の状況「⇒」>
- データ表示欄<運転解除単位の詳細「⇒」>
- データ表示欄<運転解除単位の「運転撮影回数」>

検索条件表示欄<ハンディシリアルと測定ハンディ> **検索** **取込** **履歴** **発生** **解除**

ハンディシリアル 測定ハンディ

車両ID 運転者ID 営業所ID
 測定ハンディ コントローラ

アプリケーションで使用しているハンディユニットの言葉の使い分けは下記の通りです。

- ハンディシリアル : 取込に使用したハンディユニットのシリアル
- 測定ハンディ : 測定を行ったハンディユニットのシリアル

営業所 ID で検索をした場合、その営業所に属する運転者が表示されます。

検索条件表示欄<取込日（検索画面）>

検索 取込 履歴 発生 解除

取込日 2012年12月 6日

データの取込みをした日付を表示します。ただし、ハンディユニットと SD カードからなど、複数回取り込みを行った場合、早い方の日付のみで検索ができます。

検索条件表示欄<進捗ステータス>

検索 取込 履歴 発生 解除

進捗ステータス 全件 未確認 要確認 確認済 テストデータ

テストデータを含める

データを全件で検索した場合、テストのステータスは表示されません。テストのデータを検索したい場合は、「（発生）検索」画面ではテストデータを選択して、「運転解除単位検索」画面ではテストデータを含めるにチェックをつけて検索を行ってください。

検索条件表示欄<イベント>

検索 取込 履歴 発生 解除

イベント 選択 全解除
測定結果(OK)

選択ボタンを押して、検索したいイベントを選択してください。ここで選択した内容は、他の画面に切り替えても消去されません。次回検索時になにが条件設定されているか、ご確認のうえ検索してください。

検索条件表示欄<検索開始日終了日>

検索 取込 履歴 発生 解除

検索開始日 2012年11月 7日
検索終了日 2012年12月 6日 (1ヶ月間以内)

運転解除検索画面の、この内容で検索されるデータは、測定（解除）時間が条件の範囲に含まれているデータです。

検索条件表示欄<未完結のデータを含める>

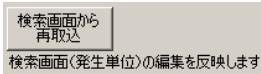
検索 取込 履歴 発生 解除

未完結のデータを含める

運転解除単位は、基となる発生単位の開始から終了までデータが揃わないと検索されません（取込時は表示されます）。揃っていないデータを見たい場合はこの項目を選択してください。ただし、写真や「運転解除単位の詳細「⇒」」は表示できません。

検索画面から再取込

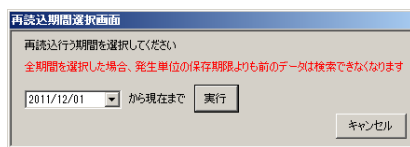
検索 取込 履歴 発生 解除



データの検索する速度をあげるために、運転解除検索画面を開くときにデータを事前に変換しています。

そのため、その後に発生単位の検索画面で内容を編集した場合（自動では反映はされません）、バージョンアップなどで情報が増えた場合などは、このボタンを押してください。

※ PC の性能やデータ量により実行には時間がかかります。



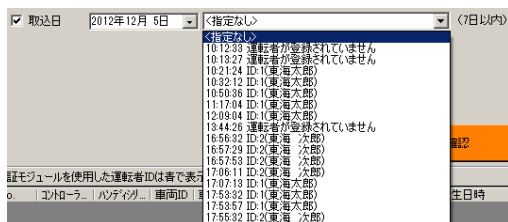
変換対象の範囲を選択することができます。（⇒「データ保存期間」の設定に関連しています。）

ただし、一回データをリセットするので、処理中に中止を行うと、中止した後のデータが検索できなくなります。

（再度運転解除検索画面を開きなおすと、続きから処理されます）

検索条件表示欄<取込日（履歴画面）>

検索 取込 履歴 発生 解除



取込時に画面に表示されていたデータを再表示する機能です。

取込日を有効にすると、取込時間を選択できます。

・<指定なし>：対象の取込日のデータを全て表示します。他の条件を入力した場合、全ての条件に一致したデータを表示します。

・取込時間 ID 番号（名前）：取込日に取込を開始した時間の一覧を表示します。他の条件は入力できません。

データに名前が登録されていない場合は、「運転者が登録されていません」と表示します。

複数の方が登録されていた場合、ID が若い方を表示し、最後に「他」の文字を表示します。

表示データの並び替えを行っているため、順序は取込時とは異なることがあります。（発生単位の取込画面では、初期表示は書込みされた順番に表示されます。）

取込画面で、警告設定表示/イベント回数表示の設定を行っている場合は、取込時間を使用して検索すると、再度警告や回数の表示が行われます。

5. 運転解除検索とは

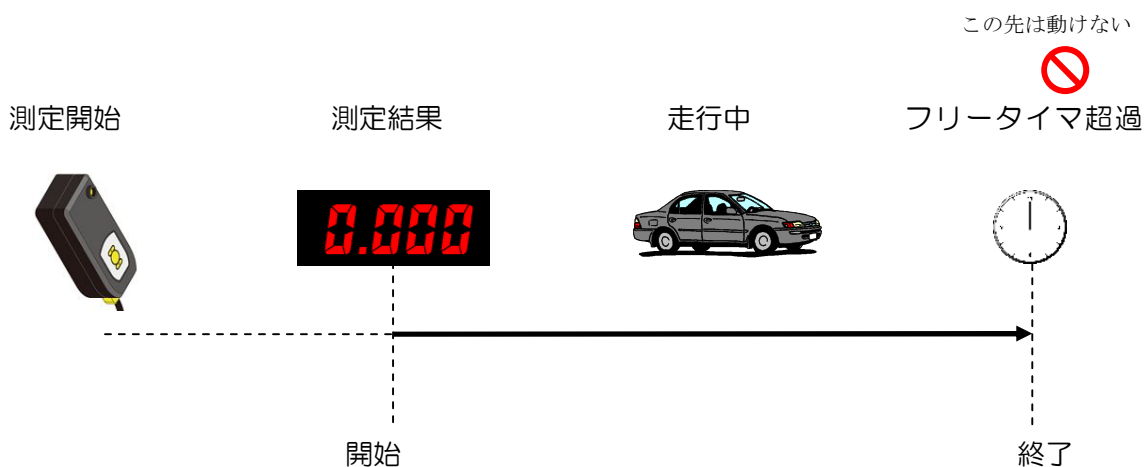
5-1. 発生単位と運転解除単位

インターロックをご利用いただく中で、なにか事象が発生したときに記録を作成しますが、そのデータをそのまま表示しているのが、発生単位と呼びます。
ただ、その記録の量が膨大になるため、一定の単位でデータをまとめ、注意点があればその単位のデータにくっつけて表示することにより、少ないデータ量でインターロックがきちんと運用されているかを確認するための表示形式を運転解除単位と呼びます。

具体的には、アルコール測定を行うなど、運転できるようになってから、運転できなくなるまでの単位とさせていただきます。

取込画面については、表示方法を設定画面から変更することができます。検索については、検索画面では、発生単位のデータを、運転解除検索画面では、運転解除単位のデータを検索することができます。

5-2. 測定による運転解除単位

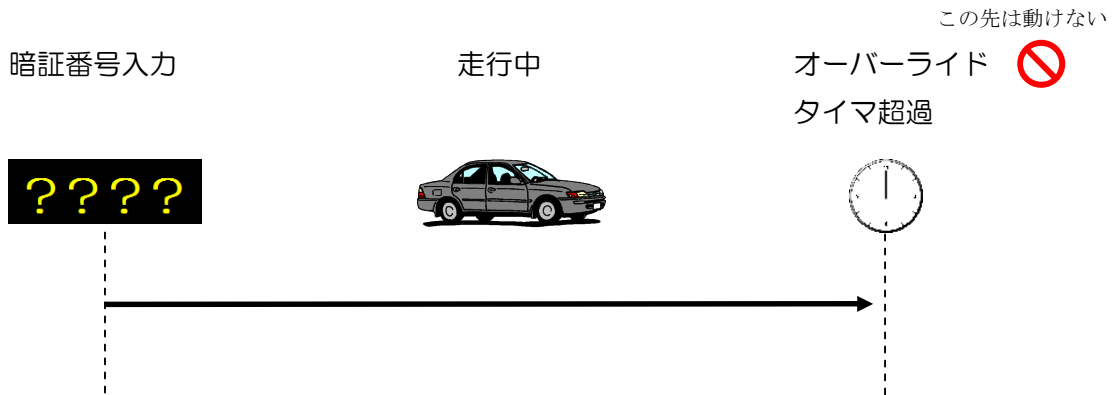


測定結果よりも前のイベントは、厳密にいうと解除単位には含まれませんが、解除するための準備という意味で、単位に含んでいます。(測定まで至らなかった場合を除く)
アルコール数値を検出した場合も、厳密には解除していませんが、測定結果の記録を表示するため1つの単位としています。(開始と終了は同一時刻になります)
フリータイム超過の他にも、終了するタイミングは存在します。

- ・ 始動タイマ超過
- ・ ハンディへのデータ転送 など

※発生単位には表示されていない時間が終了時間になることもあります。

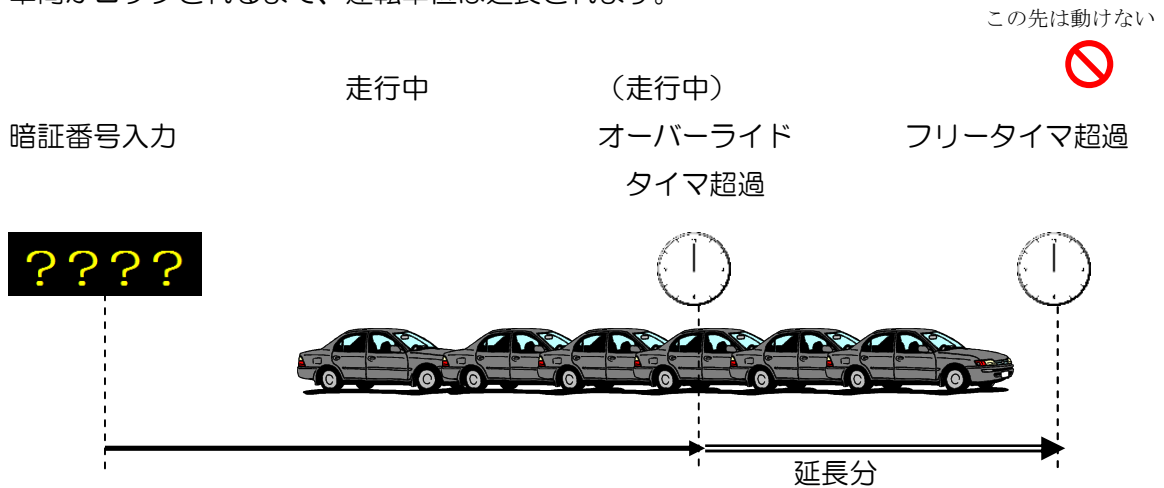
5-3. ソフトオーバーライドによる運転解除単位



実際には、オーバーライド中にもフリータイマが存在し、タイマが切れた場合に再度ハンディの電源ボタンを押す必要がありますが、解除単位には分割されません。オーバーライドタイマ超過の他にも、終了するタイミングは存在します。

- ・ 保守モードによるソフトオーバーライド終了
- ・ パスワード入力したハンディとは別のハンディを接続し電源を入れたとき

オーバーライドタイマが切れた際、まだ運転中（フリータイマ中などを含む）の場合は、車両がロックされるまで、運転単位は延長されます。



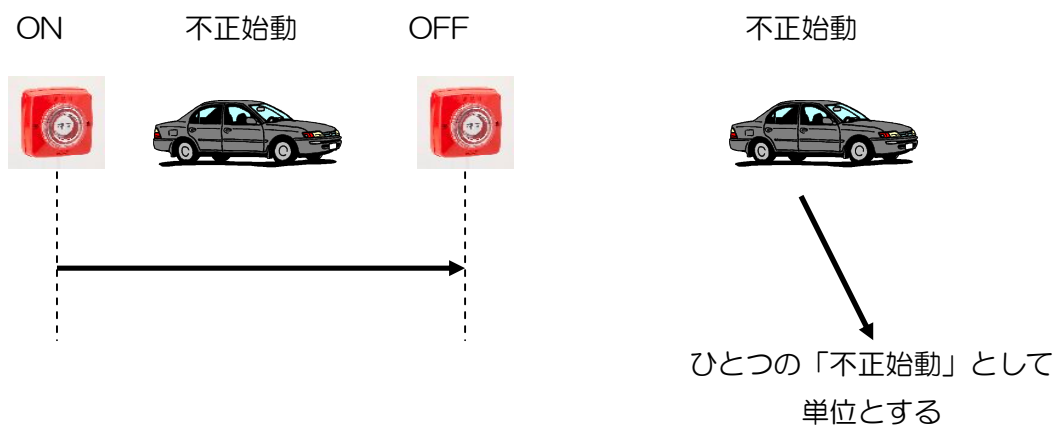
5-4. ハードオーバーライドによる運転解除単位



不正始動の判定は、車速を検知してからエンジンを止めるまでです。

そのため、非常スイッチを戻した後も、そこから発進したり、坂道発進したりするなど、不正始動が行われる場合があります。

ハードオーバーライドの範囲に入らないものは、解除という意味とはことなりますが、不正始動として1つの単位とします。

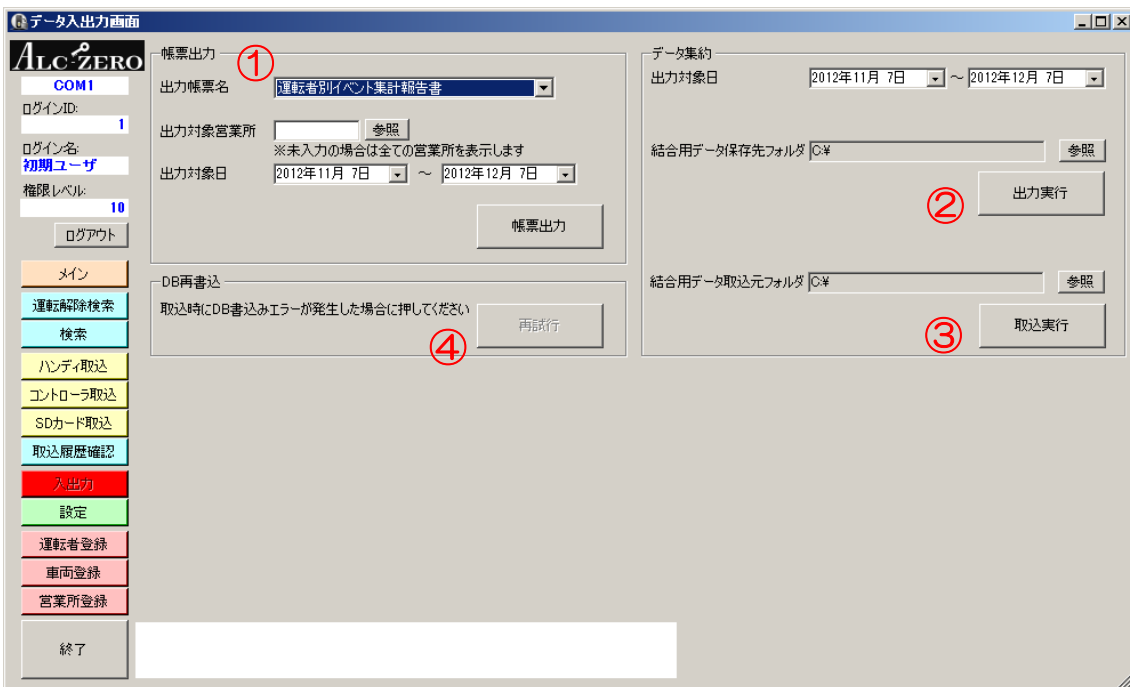


不正始動中に、非常スイッチを操作するなど行われた場合は、不正始動を始めた時間を表示します。

※不正始動の終了した時間は管理していないため、解除時間と終了時間は同一時間になります。

6. アプリケーションの使い方（入出力・設定・マスタ登録）

6-1. 入出力画面の機能



① 帳票出力

集計レポートの作成を行います。

事前に正しい運転者や車両の情報がデータに登録されているかご確認ください。

出力したいレポートの種類を選択し、営業所毎に出力したい場合は営業所 ID を入力してください。（入力がない場合は、全て表示されます。）

集計対象の期間を設定し、帳票出力ボタンを押します。

② データ集約・出力

他のPCにデータを移動するために、データをファイル出力します。

複数のファイルに分割される場合がありますので、出力先には空のフォルダを指定することをお勧めします。

ファイル名は絶対に変更しないでください。

③ データ集約・取込

他のPCの②から出力されたデータを取込みます。取込元のフォルダ内の全てのファイルを取り込みます。（取込が完了した場合は、ファイルは削除されます。）

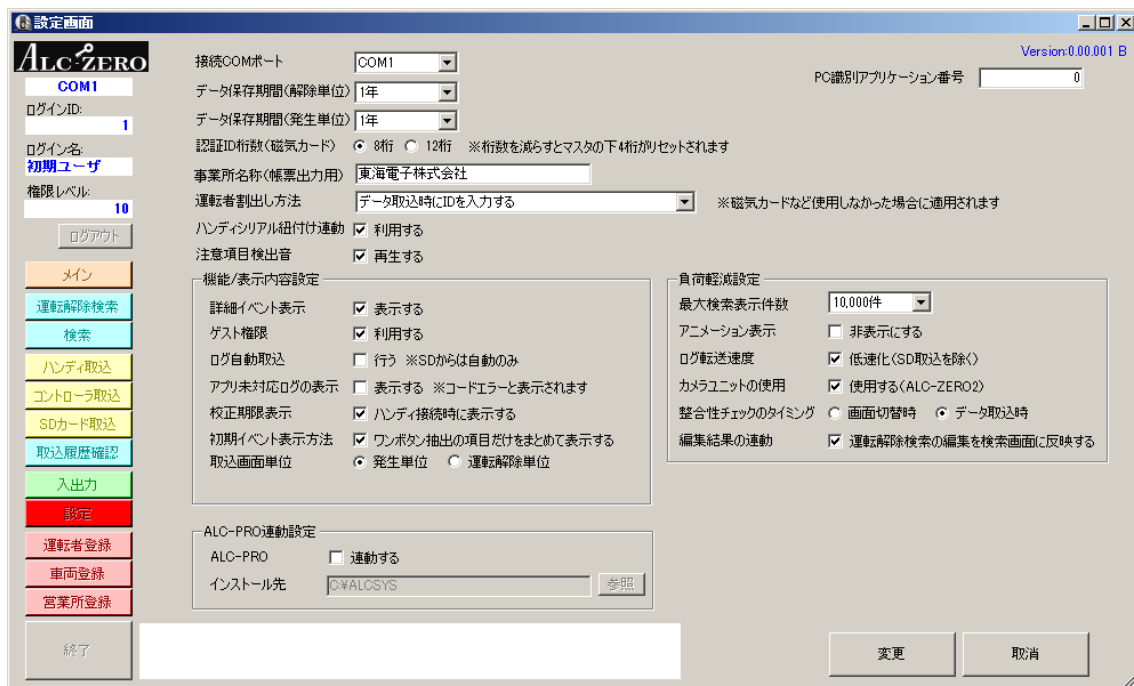
取込んだ結果、既に取り込まれていたため重複するデータは削除されます。

④ DB再書込

データ取込み時にDBに何かしらの原因で、保存できなかった場合に、再度書込み処理を行う場合に使用します（原因がお分かりになる場合は解決してから実行してください）。

DBの書込みエラーが起きていない場合は、このボタンを押すことはできません。

6-2. 設定画面でこんな設定ができます



接続 COM ポート

接続COMポート

検索 取込 履歴 発生 解除

RS232Cケーブルで接続するCOMポートを設定します。ログイン時にも設定できますが、設定画面で行うと、一旦ログアウトを行わなくても変更できます。

データ保存期間（解除単位）

データ保存期間(解除単位)

検索 取込 履歴 発生 解除

運転解除検索画面のデータの保存期間を設定します。

「検索画面から再取込」機能を使用した場合、発生単位と解除単位の短いほうが再変換対象になります。

この期間を超えた場合、再度「検索画面から再取込」からイベントを復旧することはできませんが、運転者名など編集した内容は失われることがあります。「編集結果の連動」の設定もご参照ください。

データ保存期間（発生単位）

データ保存期間(発生単位)

検索 取込 履歴 発生 解除

検索画面のデータの保存期間を設定します。

「検索画面から再取込」機能を使用した場合、発生単位と解除単位の短いほうが再変換対象になります。

期間を再度、長くした場合、保存期間が過ぎていたデータも閲覧できるようになりました。

認証 ID 桁数

検索 取込 履歴 発生 解除

認証ID桁数(磁気カード) 8桁 12桁

認証用デバイスの桁数を指定します。ZERO 2 (SD カード対応版) より磁気カードの機能は廃止されました。下位互換用の設定です。

事業所名称

検索 取込 履歴 発生 解除

事業所名称(帳票出力用) 東海電子株式会社

帳票出力を行った場合、上方部に表示されます。

運転者割出し方法

検索 取込 履歴 発生 解除

運転者割出し方法 データ取込時にIDを入力する

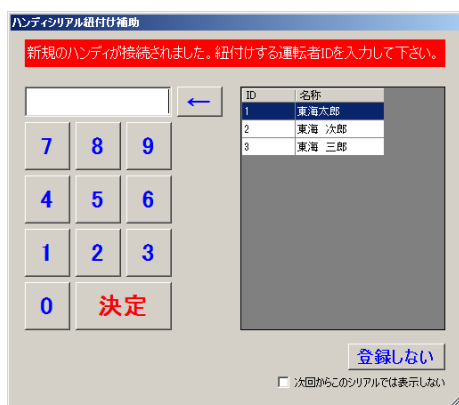
このシステムは測定時に、ID を入力していただかないため、どのように運転者を識別するか運用方法を設定します。ハンディユニットやコントローラユニット・SD カードに紐付けたり取込時に入力したりすることができます。詳しくは、「運用にあわせた運転者マスタ登録方法」を参照してください。なお、ここで識別した内容は、取込時に初期表示される内容で後から運転者名は自由に編集ができます。

認証 ID 桁数

検索 取込 履歴 発生 解除

ハンディリアル紐付け連動 利用する

運転者名をハンディユニットから抽出する場合、運転者登録でハンディユニットを登録していただく必要がありますが、この機能を利用するとマスタに登録されていないハンディユニットが接続された場合、取込画面でマスタに登録することができます。



ハンディユニットを接続すると、左記の画面が表示されます。運転者 ID を選択すると、接続したシリアルが選択した運転者 ID に登録されます。

「次回からこのシリアルでは表示しない」にチェックをつける、または一度マスタに登録されていたシリアルを削除した場合は、ハンディユニットを接続しても、この画面は表示されません。

注意項目検出音

検索 取込 履歴 発生 解除

注意項目検出音 再生する

警告設定表示/イベント回数表示機能を使用するときに、音声を流すかを設定します。機能の詳細は、取込画面の各機能の説明を参照してください。

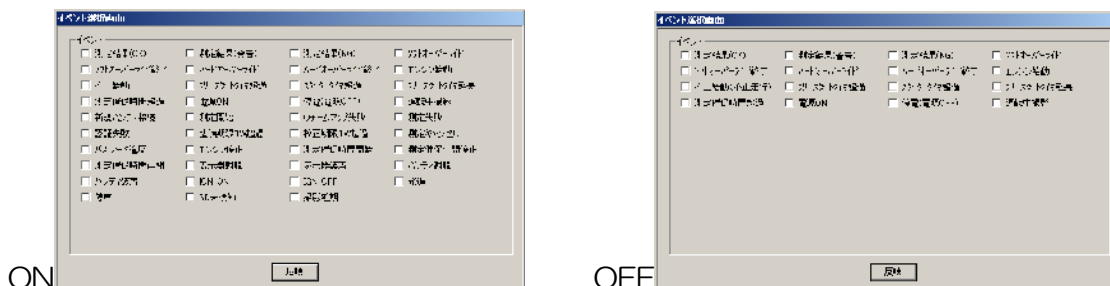
詳細イベント表示

検索 取込 履歴 発生 解除

詳細イベント表示 表示する

表示する発生単位のログの種類が変更できます。

データとして表示されない他、イベント選択のダイアログに表示される項目の数が増減します。具体的な内容については、「7-2. イベント内容について」を参照してください。



イベント選択の画面で、表示される項目数が増減します。

ゲスト権限

検索 取込 履歴 発生 解除

ゲスト権限 利用する

ログイン時、「ゲスト」のボタンを表示します。ゲストボタンを使用すると、IDとパスワードを入力しなくても、ログインすることができます。ただし、権限レベル5でログインされるため、マスタや設定の変更などは行うことはできません。詳しくは、「権限レベルについて」を参照してください。

ログ自動取込

検索 取込 履歴 発生 解除

ログ自動取込 行う ※SDからは自動のみ

ダウンロードボタンや接続解除ボタンを押さなくてもデータの取込ができます。

ハンディユニット : ハンディ取込画面でハンディの電源ボタンを押す

コントローラユニット : 接続した状態でコントローラ取込画面を開く、

または接続ボタンを押す

と、データが自動で取込まれます。

ただし、自動で取込処理が行われるため、取込処理の中断ができない（取込画面上では結合されない）/データの保存件数を確認するだけといったことが行えません。

アプリ未対応ログの表示

検索 取込 履歴 発生 解除

アプリ未対応ログの表示 表示する ※コードエラーと表示されます

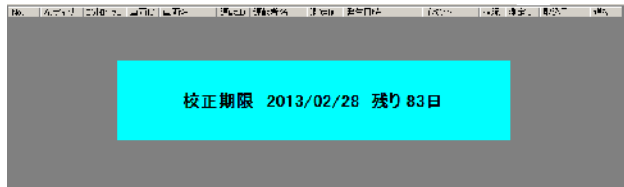
今後のインターロックユニットのバージョンアップに伴い、イベントの種類が増え、アプリケーションが対応していないログデータが取込まれることがあります（名称は、コードエラーと表示されます）。その際はバージョンアップが必要ですが、実際に行われるまで余計なログを隠したい時に設定します。

校正期限表示

検索 取込 履歴 発生 解除

校正期限表示 ハンディ接続時に表示する

ハンディユニットからデータを取込む時に、残りの校正期限を表示します。



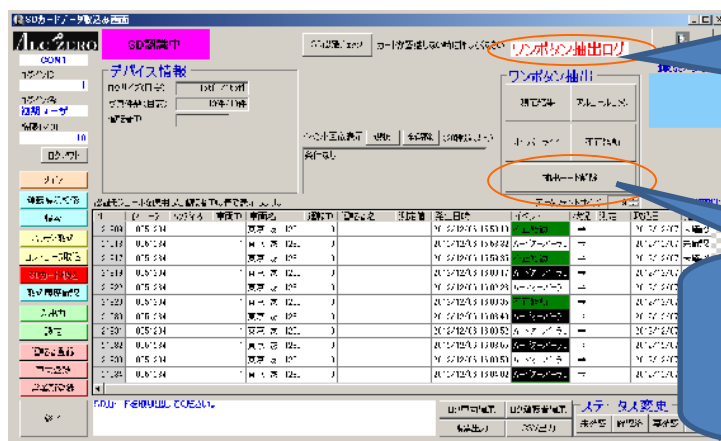
7日を以内になると背景が黄色、校正期限が切れた場合は背景が赤色になります。

校正期限表示

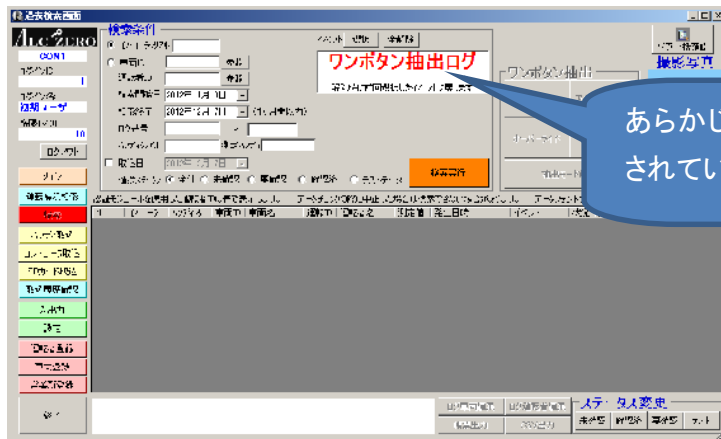
検索 取込 履歴 発生 解除

初期イベント表示方法 ワンボタン抽出の項目だけをまとめて表示する

データ取込を行った際に、表示されるデータがワンボタン抽出のボタンの種類である「測定結果」「オーバーライド開始・終了」「不正始動」のみが表示されます。



検索画面で使用すると、イベント条件にワンボタン抽出ログの項目が自動で設定されます。また、抽出モードを解除した状態で検索をし、再び抽出モードにすると、抽出対象外のデータは一時的に表示されなくなります。



取込画面単位

検索 取込 履歴 発生 解除

取込画面単位 発生単位 運転解除単位

取込画面・取込履歴検索画面のデータの表示単位を設定します。運転解除単位については、「運転解除検索とは」を参照してください。各モードの機能の説明は **発生 解除** のマークをご確認ください。

最大検索表示件数

検索 取込 履歴 発生 解除

最大検索表示件数 10,000件

発生検索での1回で検索できる件数は、PCの負荷を考慮し10000件までですが、検索できる件数を増やすことができます。ただし、増やした場合は表示までに時間がかかるため、使い方によっては作業効率が落ちることがあります。

状況に合わせて、50000件・100000件を設定してください。

アニメーション表示

検索 取込 履歴 発生 解除

アニメーション表示 非表示にする

ハンディユニットからの取込時にナビゲーションアニメーションを表示しません。

ログ転送速度

検索 取込 履歴 発生 解除

ログ転送速度 低速化(SD取込を除く)

ハンディユニット・コントローラユニットからのデータ取込の通信速度を上げます。ただし、お使いのユニットによっては取込めないこともあります。(低速化を推奨します。)

カメラユニットの使用

検索 取込 履歴 発生 解除

カメラユニットの使用 使用する(ALC-ZERO2)

写真に関わる機能を有効にします。無効にすると、写真表示関係の表示がなくなる他、写真の取込の機能や、表示する写真を検索する機能が動かないため、アプリケーションの動きが速くなることがあります。

!! この機能を無効にした状態でSDカードからデータを取込むと、後から有効にしても写真が表示されません。再度SDカードを接続していただくと、保存された写真を取込むことができます。

整合性チェックタイミング

検索 取込 履歴 発生 解除

整合性チェックのタイミング 画面切替時 データ取込時

初期設定では取込画面から他の画面に移動した場合に、重複したデータなど整合性を確認しますが、取込みをしたデータが多いほど処理に時間がかかるため、都度データの取込みを行った段階で整合性確認の機能を動かすように変更ができます。

下記のタイミングでデータを確認するため、PC 操作で煩わしいようであれば、画面切替時に設定してください。

- ・ ハンディユニットの取込みが完了したとき
- ・ コントローラユニットの取込みが完了したとき
- ・ 取込み完了後、SD カードを抜いたとき

編集結果の連動

検索 取込 履歴 発生 解除

編集結果の連動 運転解除検索の編集を検索画面に反映する

運転解除検索で編集した内容を検索画面に反映します。

ただし、検索画面に反映するためには時間がかかるため、検索画面を利用されない場合は、無効にすると動作が速くなります。（ただし、後からの反映はできません。）

編集結果の連動

検索 取込 履歴 発生 解除

PC識別アプリケーション番号

複数の PC でこのアプリケーションをご使用される際に設定してください。

IP アドレスのように、PC ごとに異なる番号を登録しておく、SD カードからのデータ取込み時に、PC ごとに差分取り込みが行われます。

例.

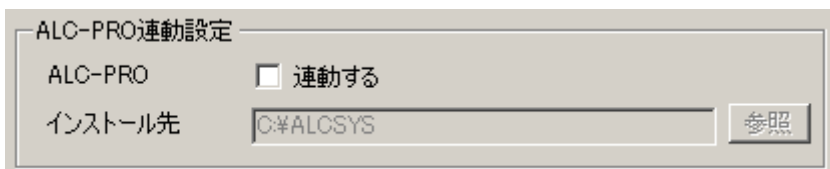
PC 識別番号 1 の PC は、前回 PC 識別番号 1 の PC で取込んだ続きから

PC 識別番号 2 の PC は、前回 PC 識別番号 2 の PC で取込んだ続きから

取込まれるので、PC 識別番号 1 と PC 識別番号 2 の取込まれたデータは同一になります。

ALC-PRO との連動設定

検索 取込 履歴 発生 解除



業務用アルコール測定機 ALC-PRO のアプリケーションのインストール先を設定してください。現在は、マスタデータの取込みのみ行えますが、今後機能を拡張していく予定です。製品群の種類やカスタマイズを行っている場合は、連動できないことがあります。

6-3. マスタの登録方法（概略）

①登録・編集したいマスタデータを選択します。

The screenshot shows the '運転者登録画面' (Driver Registration Screen) with a table of driver data. A blue callout bubble contains the following text:

編集したいデータにカーソルを合わせます。
新規に追加したい場合は、最終行を選択します

運転者ID	運転者名	営業所名	免許証期限	コントロールラベル	認証用ID	ハンディシリアル
1	東海 次郎	未登録				
2	東海 次郎	未登録				
3	東海 三郎	未登録				

②登録・編集したい内容を書き換えます。

The screenshot shows the '運転者登録画面' (Driver Registration Screen) with the driver data entry form. A blue callout bubble contains the following text:

最後に追加・更新・削除を選択してください

運転者ID	運転者名	営業所名	免許証期限	コントロールラベル	認証用ID	ハンディシリアル
1	東海 次郎	未登録				
2	東海 次郎	未登録				
3	東海 三郎	未登録				

①と②を繰り返します。

③登録・修正する内容をすべての入力が完了したら、確定ボタンを押してください。

運転者ID	運転者名	営業所名	免許証期限	エトローリアル	認証ID	ハンディリアル
1	東海 太郎	未登録				
2	東海 次郎	未登録				
3	東海 三郎	未登録		0000111		

取消ボタンを押すと、マスタ登録画面を開いた状態のデータに復元されます。

6-4. マスタ登録画面の基本機能・表示内容説明

入力項目<検索/新規行>

運転者 車両 営業所

マスタ選択のカーソルが最終行にいる場合、ID または名称の欄に検索したい文字列を入力すると、検索ボタンを押したときにカーソルが該当するデータの所に移動します。

運転者ID	<input type="text"/>	検索
運転者名	次郎	

検索を押すと・・・

2	新規行	運転者ID	運転者名	営業所名	免許証期限	コントローラシリアル	認証用ID	ハンディシリアル
東海 次郎		1	東海太郎	未登録				
	参照	2	東海 次郎	未登録				
未登録		3	東海 三郎	未登録		0000111		
2012年12月 7日								

カーソル移動。

運転者ID	3	新規行
運転者名	東海 三郎	

また、データが選択されているときには、「新規行」の名称に変わり、ボタンを押すと最終行に戻ります。

名称は一部分しか入力しない場合でも一致した行にカーソルが移動します。

ID と名称の両方入力されている場合には、ID の一致した箇所へカーソルが移動します。

入力項目<シリアル入力>

運転者 車両 営業所

シリアルと運転者・車両を紐付ける場合、シリアルは最大 10 件まで登録できます。

10 件を超えた場合は、不要なものを削除してください。

追加する際には、必ずシリアルを入力後、「追加」ボタンを押してください。

コントローラシリアル		追加	入力後追加ボタンを 押してください
0000111	削除		

各入力項目の意味（運転者マスタ）

運転者 車両 営業所

項目名	内容
運転者 ID	重複しない番号を割り振ってください
運転者名	運転者のお名前を入力してください
営業所 ID	所属する営業所を入力してください 入出力画面の帳票出力時、運転解除検索の検索条件に使用できます。
免許証有効期限	現在は登録したことにより特にアプリケーションでは、動作は変化しませんが今後、機能が拡張されることがあります。
コントローラシリアル	運転者をコントローラユニットに結びつける際に入力してください。
ハンディシリアル	運転者をハンディユニットに結びつけるさいに入力してください。
認証 ID	磁気カード用に登録しておく項目ですが、ZERO2 では使用できません。 下位互換用です。

各入力項目の意味（車両マスタ）

運転者 車両 営業所

項目名	内容
車両 ID	重複しない番号を割り振ってください
車両名	車両の認識できる名前を入力してください
営業所 ID	所属する営業所を入力してください 入出力画面の帳票出力時、運転解除検索の検索条件に使用できます。
車検日	現在は登録したことにより特にアプリケーションでは、動作は変化しませんが今後、機能が拡張されることがあります。
コントローラシリアル	車両をコントローラユニットに結びつける際に入力してください。

各入力項目の意味（営業所マスタ）

運転者 車両 営業所

項目名	内容
営業所 ID	重複しない番号を割り振ってください
営業所名	営業所の名前を入力してください

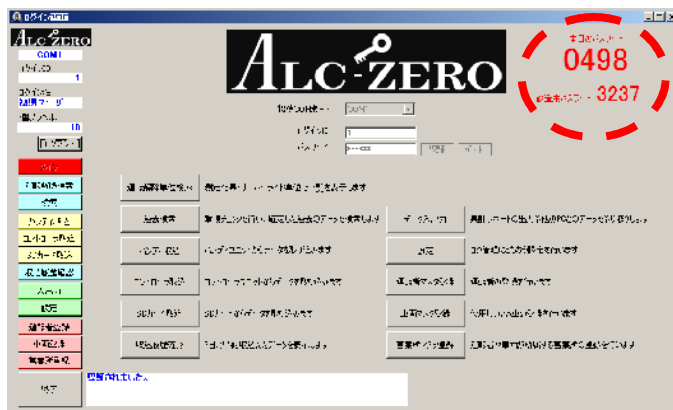
※営業所の登録は行わなくても動作します。

※ 権限レベルについて

ユーザ登録ツールでID毎に登録した権限レベルによって、下記の通り制限をかけることができます。（ゲスト権限はレベル5として扱います）

レベル	イベントビューア
10以上	日替わりパスワード・設置用パスワード表示※ ・テストステータス変更
9以上	
8以上	写真注意チェック・進捗ステータス変更
7以上	
6以上	マスタ編集・アプリ設定変更
5以上（ゲスト）	集約用データ出力
4以上（ゲスト）	
3以上（ゲスト）	マスタ閲覧・アプリ設定閲覧
2以上（ゲスト）	イベントデータ編集
1以上（ゲスト）	イベントデータ閲覧
0以上（ゲスト）	イベントデータ取込み

今後のバージョンアップで、内容は追加されていく予定です。



※日替わりパスワード表示とは、保守モードから行うソフトウェアオーバーライドを行うための、パスワードです。

設置用パスワードとは、保守モードから行う改造検知のための電圧判定値を変更するためのパスワードで、月替わりです。

6-5. インターロックのマスタ作成の考え方

アプリケーションで使用するシリアルとは

インターロックのハンディシリアルやコントローラシリアルは、製造番号（本体にバーコードと共に書かれている英数字）とは別に、メモリ内部に保存されている 7 桁以内の番号のことです。ユニットに番号が貼られていることもあります。

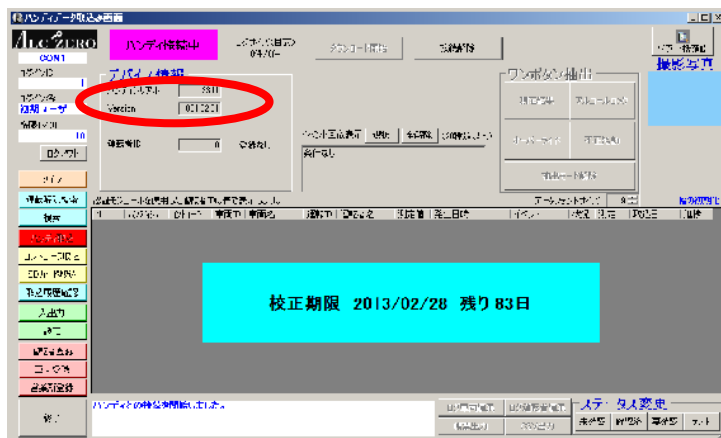
※ シリアル番号は、ハンディユニット・コントローラユニットの出荷時に割り振られる番号であり、お客様では変更はできません。そのため、社内で運用している番号を使用できるように、コントローラシリアルとは別にお客さまが任意に割り振る「車両 ID」を紐付けることができます。

ハンディユニット設定情報

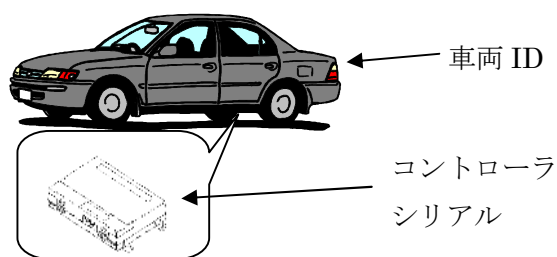
設定者	Administrator	
設定日時	2009/09/29 12:41:56	
ハンディシリアル	295	(前回)
ペアドバイスID	0	ROMVer

シリアル番号は、接続時に画面や同梱の帳票、設定アプリケーションの帳票等で確認できます。

項目1	
ハンディ区分	通常ハンディ
測定終了レベル	5%
吸い込み検知機能	使用しない
アルコール濃度計算単位	mg/L
未校正ユニット測定防止機能	設定なし
デバッグログ出力	出力する
極低呼吸検出	判定しない



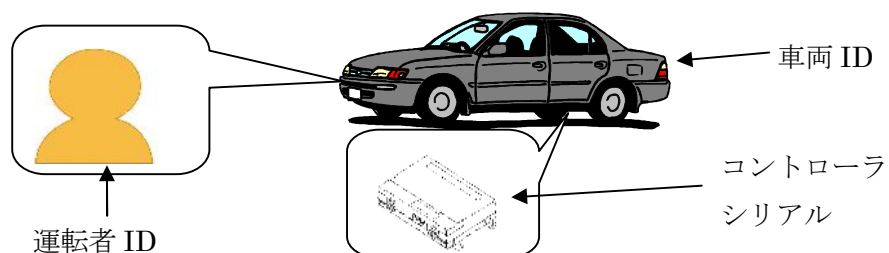
① 運用にあわせた車両マスタ登録方法



車に取り付けているコントローラシリアルを車両マスタに登録してください。
データを開覧した時に、イベントデータのコントローラシリアルから車両名称を変換しま
す。(車両 ID で検索できます)

② 運用にあわせた運転者マスタ登録方法

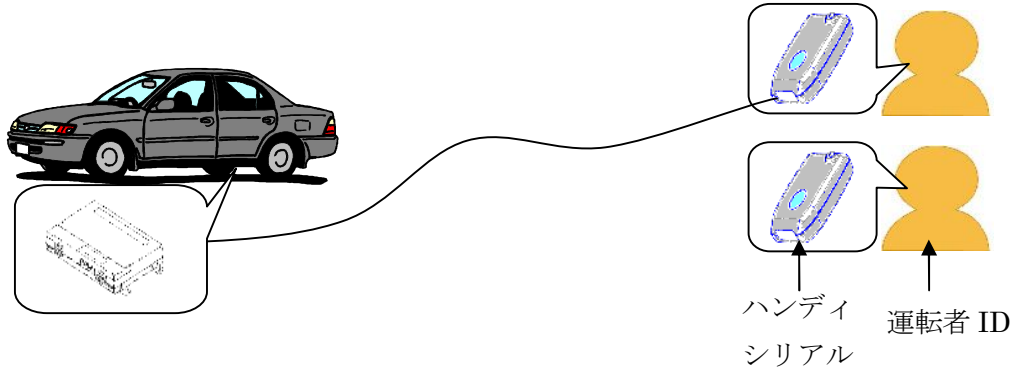
A. 1つの車両にいつも同じ人しか乗らない場合。



運転者マスタに**コントローラシリアルのみ**登録してください。

※ 設定画面の運転者割出し方法で「**コントローラ(車) に運転者を割当てる**」を選択して
ください

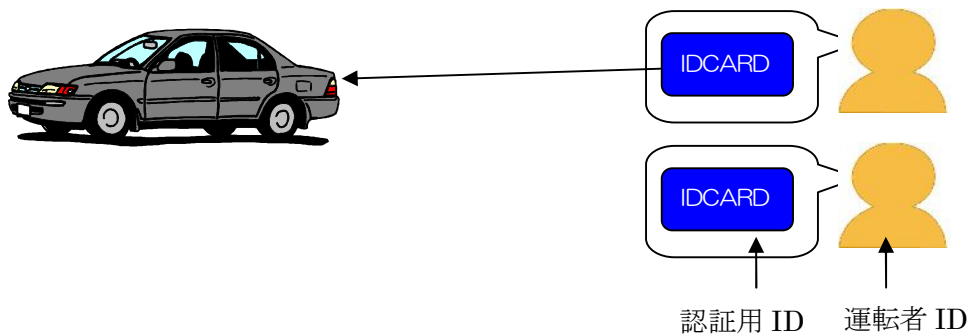
B. 運転者に1つのハンディユニットを割り当てる場合



運転者マスタに**ハンディシリアル**を登録してください。

※ 設定画面の運転者割出し方法で「**測定したハンディに運転者を割り当てる**」を選択してください

C. 認証デバイスを使用する場合



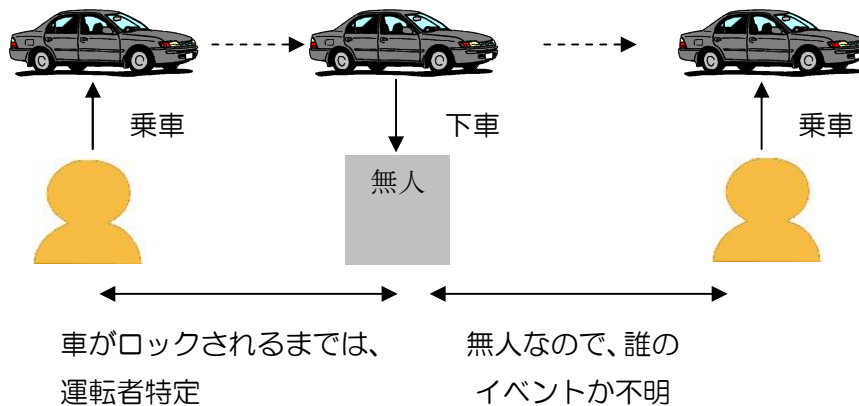
運転者マスタに**認証用 ID**を登録してください。

※ 設定メニューの運転者割出し方法に何を設定しても、認証デバイスが優先されます。

ZERO2では、認証デバイス（磁気カード）はご利用いただけません。

cf. 車両内が無状態のイベントについて

B. C.の場合、測定した時のハンディや認証デバイスを使用するため、車両ロック後のイベントは、誰の行為かは特定できません。



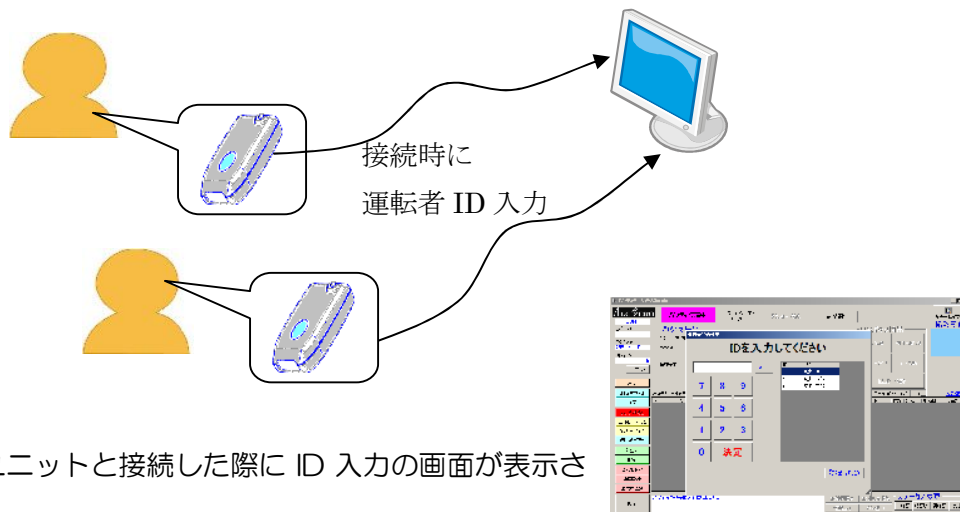
B. C. の項目に加えて、コントローラシリアル (=車両) を登録しておくこと、上記不明の時間帯のイベントに、コントローラシリアルに対応した人の名前が入ります。(車の責任者のイメージです)

※ 設定画面の運転者割出し方法に「ハンディとコントローラに割当てる」を選択してください

※ データと運転者名・車両名との結びつけについて (優先順位)

優先	車両 ID (マスタと常に連動する)	運転者 ID (取込み時に確定する)
1	コントローラシリアル	認証用 ID (認証してからロックするまで)
2		測定に使用したハンディシリアル (電源を入れてからロックするまで)
3		コントローラシリアル
4		手作業入力 (取込み後のログ編集)

D. 取込時に本人が認証 ID を入力する場合（画面入力）

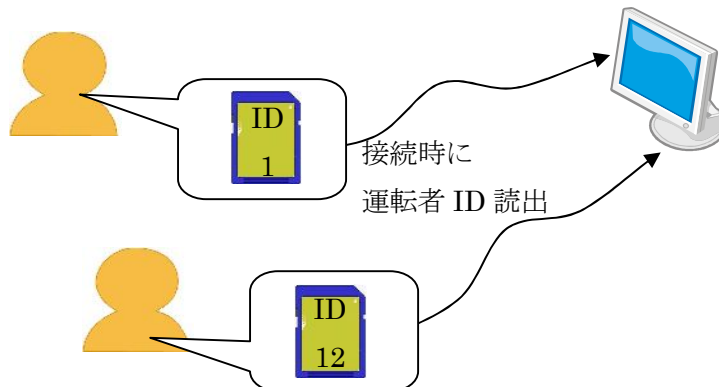


ハンディユニットと接続した際に ID 入力の画面が表示されます。

ハンディユニットを別の人に渡す前は、必ず PC にダウンロードしてから行ってください。取り出した際、データが残っていて万が一、他の方のデータがダウンロードされた場合は、ログ運転者編集から編集してください。

※ 設定画面の運転者割出し方法に「データ取込時に ID を入力する」を選択してください

E. 取込時に本人が認証 ID を入力する場合（SD 登録）



※ 設定画面の運転者割出し方法に「データ取込時に SD に保存されている運転者を表示する」を選択してください

※ 紐付け方法が変更される場合を考慮し、データを取込時点の運転者 ID で識別されます。変更する場合は、検索画面より変更を行ってください。

21811	0051234		1	東京 あ 123...	1	東海太郎	2012/12/05 11:01:42	ハンディ装着	⇒		2012/12/05	未確認
21812	0051234		1	東京 あ 123...	1	東海太郎	2012/12/05 11:01:50	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21813	0051234		1	東京 あ 123...	1	東海太郎	0.000 2012/12/05 11:02:23	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

4713件のデータが検索されました。

ログ車両編集 ログ運転者編集 ステータス変更

帳票出力 CSV出力 未確認 確認済 要確認 テスト

7. データの見方

7-1. イベントデータ表示について

発生単位の各項目の説明

No.	コントローラ...	ハンディシリアル...	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	発生日時*	イベント	状況	測定...	取込日	進捗
21784	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1	東海太郎		2012/12/05 10:27:23	ハードオーバー...	⇒		2012/12/05	未確認
21785	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1	東海太郎		2012/12/05 10:27:28	ハードオーバー...	⇒		2012/12/05	未確認
21786	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1	東海太郎		2012/12/05 10:27:33	ハンディ装着	⇒		2012/12/05	未確認
21787	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1	東海太郎		2012/12/05 10:27:42	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21788	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1	東海太郎	0.000	2012/12/05 10:28:14	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

項目名	意味
No.	コントローラユニット毎に作成するデータの通し番号です。本文書では、ログ番号と呼びます。 (No.とコントローラシリアルが同一であれば、同じイベントデータです。)
コントローラシリアル	データを作成したコントローラユニットです。
ハンディシリアル	データを取込んだハンディユニットです。 コントローラユニット・SDカードから取込んだ場合は、空白になります。
車両ID	車両マスタを使用してコントローラシリアルから割出した車両IDです。 マスタのメンテナンス漏れなどのため、自由に編集ができます。 詳しくは「運用にあわせた車両マスタ登録方法」をご覧ください。
車両名	車両IDに登録されている車両名です。
運転ID	取込み時の条件や編集された運転者IDです。 詳しくは「運用にあわせた運転者マスタ登録方法」をご覧ください。
運転者名	運転者IDに登録されている運転者名です。
測定値	測定を行った場合のみ表示します。 「0.000」以外の場合は、行全体が赤帯で表示されます。
発生日時	イベントが作成された時間です。
状況	行内に表示しきれない情報を表示します。測定を失敗した理由や各信号の有無、タイマの設定時間などが表示されます。 複数行選択されている場合は、一番上の行の情報を表示します。
測定ハンディ	センサーを使用したハンディシリアルです。 「ハンディシリアル」の項目は、取込みに使用したハンディユニットのため、測定ハンディとは異なる値の場合があります。 ハンディユニットの電源を入れてから、測定による運転をロック（フリータイマを超過するなど）が行われるまで表示されます。 ハンディユニットによる運転者割出しは、この項目を使用しています。

取込日	データ取込みを行った日です。
進捗	データの重要度を登録できます。写真にチェックをつけた場合は「写真注意」の表示に切替わります。(チェックを外すと元の表示に戻ります) 画面下部にあるステータス変更から編集できます。

運転解除単位の各項目の説明

INDEX	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	測定(解除)時間*	終了時間	運転撮影	測定ハン...	コントローラ	詳細	特記事項	進捗	▲
984	2	大阪 い 987...	2	東海 次郎	0.000	2012/12/04 00:26:02	2012/12/04 00:27:10		0000925	0041241	⇒		未確認	
985	2	大阪 い 987...	2	東海 次郎	0.000	2012/12/04 05:38:13	2012/12/04 08:19:57	6回	0000753	9000002	⇒		未確認	
986	2	大阪 い 987...	2	東海 次郎	0.000	2012/12/04 10:11:39	2012/12/04 10:22:34	2回	0003311	0051234	⇒		未確認	
987	2	大阪 い 987...	2	東海 次郎	0.000	2012/12/04 11:06:43	2012/12/04 11:28:23	4回	0003311	0051234	⇒		未確認	
988	2	大阪 い 987...	2	東海 次郎	不正始動	2012/12/04 11:23:57	2012/12/04 11:23:57	1回		0051234	⇒		未確認	
989	2	大阪 い 987...	2	東海 次郎	0.000	2012/12/04 12:12:00	2012/12/04 12:13:07		0000925	0041241	⇒		未確認	
990	2	大阪 い 987...	2	東海 次郎	0.000	2012/12/04 12:14:20	2012/12/04 12:15:28		0000925	0041241	⇒		未確認	

項目名	意味
INDEX	データの行番号です。
車両 ID	車両マスタを使用してコントローラシリアルから割出した車両 ID です。 マスタのメンテナンス漏れなどのため、自由に編集ができます。 詳しくは「運用にあわせた車両マスタ登録方法」をご覧ください。
車両名	車両 ID に登録されている車両名です。
運転 ID	取込み時の条件や編集された運転者 ID です。 詳しくは「運用にあわせた運転者マスタ登録方法」をご覧ください。
運転者名	運転者 ID に登録されている運転者名です。
測定値	測定を行った場合のみ表示します。 「0.000」以外の場合は、行全体が赤帯で表示されます。 測定を伴わない解除の場合は、「ハード (=ハードオーバーライド)」「ソフト (=ソフトオーバーライド)」「不正始動」と表示されます。
測定(解除)時間	測定が行われた時間、または解除を開始した時間です。
終了時間	車両をロックした時間、または不正始動を終えた時間です。
運転撮影	運転中の撮影の回数を表示します。(測定写真は含まれません) クリックすることにより、全ての写真を表示します。 「カメラユニットの使用」の設定を OFF にすると、この項目は表示されません。
測定ハンディ	センサーを使用したハンディシリアルです。 ハンディの電源が切れている状態で解除した場合、この項目は表示されません。(ハードオーバーライド・不正始動など) ハンディユニットによる運転者割出しは、この項目を使用しています。

コントローラ	データを作成したコントローラユニットです。
詳細	このデータを作成する基になった発生単位のデータを表示します。 ただし、一部未取込のため開始から終了まで全てのデータが揃っていない 未完成のデータは表示することはできません。
特記事項	行内の情報からだけだと読取れない情報を表示します。警告表示で表示さ れる内容と一部合致します。
進捗	データの重要度を登録できます。写真にチェックをつけた場合は「写真注 意」の表示に切替わります。（チェックを外すと元の表示に戻ります） 画面下部にあるステータス変更から編集できます。

※特記事項に表示される内容について

写真撮影失敗：測定または、運転の写真の撮影に失敗しました。

原因は、SDカードが検知できないなどからカメラの故障まで、様々な原因が考えられます。詳細の「⇒」から発生単位のログを表示していただき、さらに画面内の測定結果または運転中写真ログの「⇒」をクリックしていただくと、システムが検知した原因が表示されます。

測定催促を超過：測定催促タイマでアナウンスされていても、再測定を行いませんでした。

未校正のハンディ測定：校正期限の過ぎたハンディユニットで測定されました。

状況によりやむをえない場合もありますので、帳票には表示されません。

最長停車時間：運転と運転の間の車両が止まっていた最長の時間を表示します。

休眠タイマまたは、停車タイマを設定すると表示されます。

休眠タイマの設定時は5分以上（初期値で設定している場合）の停車があると表示されます。

停車タイマ設定時の場合は、停車タイマの特性上、目安の時間が表示されます。

ただし、ここでいう停車は不正を防ぐため、エンジンを止めた場合の時間も含まれます。

停電で終了：システム停止（コントローラユニットの電源が切れた）のために、解除を終了しました。

7-2. イベント内容について

(設定や仕向け等により表示内容と異なる場合や表示されない場合があります。)

基本ログの内容

設定画面で「詳細イベント表示」を表示しない設定にした場合、表示される内容です。

イベント選択画面

イベント

<input type="checkbox"/> 測定結果(OK)	<input type="checkbox"/> 測定結果(警告)	<input type="checkbox"/> 測定結果(NG)	<input type="checkbox"/> ソフトオーバーライド
<input type="checkbox"/> ソフトオーバーライド終了	<input type="checkbox"/> ハードオーバーライド	<input type="checkbox"/> ハードオーバーライド終了	<input type="checkbox"/> エンジン始動
<input type="checkbox"/> 不正始動	<input type="checkbox"/> フリースタートタイム超過	<input type="checkbox"/> スタータタイム超過	<input type="checkbox"/> フリースタートタイム延長
<input type="checkbox"/> 測定催促時間超過	<input type="checkbox"/> 電源ON	<input type="checkbox"/> 停電(電源OFF)	<input type="checkbox"/> 運転中撮影

メッセージ	内容
測定結果 (OK)	アルコールが検知されませんでした。 ロックを解除しました。
測定結果 (警告)	アルコールが検知されましたが、基準値 (ロック数値) 未満のため、ロックを解除しました。
測定結果 (NG)	アルコールが検知されました。
ソフトオーバーライド	パスワード入力による非常解除を行いました。
ソフトオーバーライド終了	パスワード入力による非常解除を終了しました。 (設定時間の終了または、パスワードを入力したハンディとは別のハンディを接続/保守モードから終了操作をすると終了します)
ハードオーバーライド	非常解除スイッチ (赤い非常ボタンまたは、コントローラユニットのスイッチ) を ON にしました。 運転中に ON にした場合は、運転が終了し車両がロックされた時刻が表示されます。

ハードオーバーライド終了	非常解除スイッチ（外出しの赤い非常ボタンまたは、コントローラユニットのスイッチ）をOFFにしました。
エンジン始動	エンジンを掛けられる状態でイグニッションを入れた後、車速を検知した際に表示されます。（車速を検知する場合）
不正始動	測定していないにもかかわらず、車速を検知しました。ハードオーバーライド中、または押しがけ・坂道発進の時などに表示されます。（イグニッションを切るまでは連続して表示はされません。）
フリースタート超過	フリースタートタイマが切れたため、車両をロックしました。
スタータータイマ超過	測定後、始動時間（スタータータイマ）を経過した時にエンジンが掛かっていなかったため、車両をロックしました。
フリースタート延長 【フリータイマを車速で判定する設定の場合のみ】	フリースタートタイマが切れたため、車両をロックしますが、エンジンがかかっている可能性があるため、車速を検知した場合は、運転を続行できます。車速を検知せずにアクセサリを切るとその時点で「フリータイマ超過」になります。
測定催促時間超過 【測定催促タイマ設定時のみ】	測定催促タイマによるアナウンスを無視しました。（測定催促時間から初回アナウンスを開始し、30分以上経過した場合）
電源 ON	コントローラユニットを車両に接続しました。
停電（電源 OFF）	コントローラユニットを車両から取り外しました。
運転中撮影 【ZERO2で運転中撮影を設定している時のみ】	運転中の撮影を行いました。タイミングは下記の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ・スタータータイマが切れた後の車速の検知 ・撮影タイマの時間を迎えた時 ・不正始動の検知

詳細ログの内容

設定画面で「詳細イベント表示」を表示する設定にすると表示される内容です。

イベント選択画面

イベント

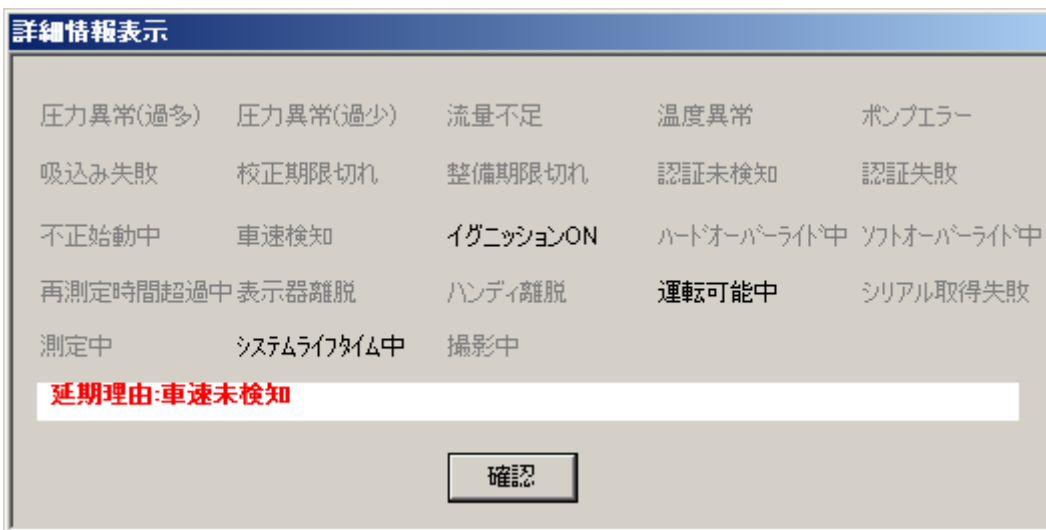
<input type="checkbox"/> 測定結果(OK)	<input type="checkbox"/> 測定結果(警告)	<input type="checkbox"/> 測定結果(NG)	<input type="checkbox"/> ソフトオーバーライド
<input type="checkbox"/> ソフトオーバーライド終了	<input type="checkbox"/> ハードオーバーライド	<input type="checkbox"/> ハードオーバーライド終了	<input type="checkbox"/> エンジン始動
<input type="checkbox"/> 不正始動	<input type="checkbox"/> フリースタートタイム超過	<input type="checkbox"/> スタータタイム超過	<input type="checkbox"/> フリースタートタイム延長
<input type="checkbox"/> 測定催促時間超過	<input type="checkbox"/> 電源ON	<input type="checkbox"/> 停電(電源OFF)	<input type="checkbox"/> 運転中撮影
<input type="checkbox"/> 新規ハンディ接続	<input type="checkbox"/> 測定開始	<input type="checkbox"/> ウォームアップ失敗	<input type="checkbox"/> 測定失敗
<input type="checkbox"/> 認証失敗	<input type="checkbox"/> 整備期限1W超過	<input type="checkbox"/> 校正期限1W超過	<input type="checkbox"/> 測定キャンセル
<input type="checkbox"/> パスワード違反	<input type="checkbox"/> エンジン停止	<input type="checkbox"/> 測定催促時間開始	<input type="checkbox"/> 測定催促時間停止
<input type="checkbox"/> 測定催促時間再開	<input type="checkbox"/> 表示器離脱	<input type="checkbox"/> 表示器装着	<input type="checkbox"/> ハンディ離脱
<input type="checkbox"/> ハンディ装着	<input type="checkbox"/> IGN-ON	<input type="checkbox"/> IGN-OFF	<input type="checkbox"/> 発進
<input type="checkbox"/> 停車	<input type="checkbox"/> SD未検知	<input type="checkbox"/> 撮影延期	

反映

メッセージ	内容
新規ハンディ 接続	保守・校正で届いた交換用ハンディを初めて接続したため、前回使用していたハンディの設定内容を複製しました。
ウォームアップ失敗	センサーの測定対応温度（70℃）を超えています。 ヒーターが故障しています。
測定失敗	測定が完了しませんでした。原因は「⇒」をクリックすると詳細が表示されます。（詳細表示項目一覧参照）
測定キャンセル	測定を開始してから、電源ボタンを再度押すかハンディのケーブルを外したため、測定が取りやめになりました。
認証失敗 【磁気カード使用時】	磁気カードによる認証が時間内に終了できませんでした。（ID等が残りません）
整備期限 1 W 超過	整備期限が1週間以上超過していたため、測定を中止しました。（設定されている場合のみ）
校正期限 1 W 超過	校正期限が1週間以上超過していたため、測定を中止しました。（設定されている場合のみ）
パスワード違反	ソフトウェアオーバーライドを使用するまたは、不正改造検知の車両設定のための、パスワード入力を間違えました。
エンジン停止	エンジンを止めました。（イグニッションを切りました）

測定催促時間開始 【測定催促タイマ 設定時のみ】	測定催促時間を開始しました。設定時刻も表示します。
測定催促時間停止 【測定催促タイマ 設定時のみ】	車速が休眠時間検知されなかったため、測定催促時間を一時停止しました。
測定催促時間再開 【測定催促タイマ 設定時のみ】	測定催促時間が停止していましたが、車速を検知したため、測定催促時間のカウントを再開しました。
表示器離脱	ディスプレイユニットを取り外しました。 ※表示器を外すと測定や写真撮影はできません。
表示器装着	ディスプレイユニットを取り付けました。
ハンディ離脱	ハンディユニットを取り外しました。
ハンディ装着	ハンディユニットを取り付けました。
測定開始	ハンディの電源を押し、測定の準備が始まりました。もし、運転できる状態の場合は車両をロックします。
IGN-ON 【IGN ログ出力設定時】	イグニッションを入れました。
IGN-OFF 【IGN ログ出力設定時】	イグニッションを切りました。
発進 【フリータイマを車速で 判定し、停車タイマを設 定した場合のみ】	車速を検知しました。 (測定をした後、またはソフトウェアオーバーライドによる解除中に表示されます)
停車 【フリータイマを車速で 判定し、停車タイマを設 定した場合のみ】	車を停止させてから IGN を OFF にしました。 または、停車タイマの設定時間を越えました。 (測定をした後、またはソフトウェアオーバーライドによる解除中に表示されます)
SD 未検知 【ZERO 2・ SD 必須設定時】	SD カードが認識できなかったため、測定できませんでした。
撮影延期 【ZERO 2・ 運転中撮影を 設定している時のみ】	運転中の撮影のタイミングになりましたが、運転していない (車速がない) または、ディスプレイ表示中のため、原因が 解決するまで撮影を延期しました。

7-3. 状況メッセージについて（「⇒」セルをクリックした場合）

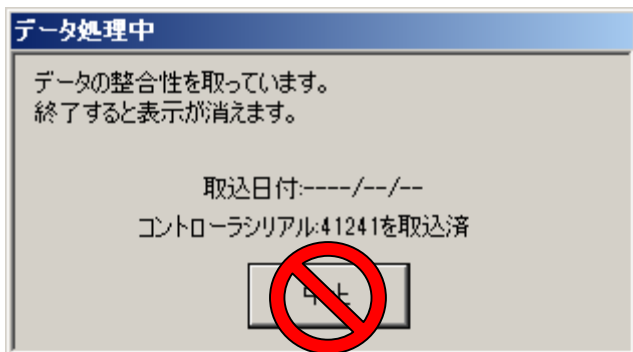


メッセージ	内容	区分
圧力異常（過多）	測定中の呼気圧が強かったため、流量をリセットしたことがあります。	測定
圧力異常（過少）	測定中の呼気圧が弱かったため、流量をリセットしたことがあります。	測定
流量不足	時間内に規定の流量の呼気を入れなかったため、測定を中止しました。	測定
温度異常	ウォームアップが失敗しました。（該当の測定による車両の解除がロックするまで表示され続けます）	測定
ポンプエラー	ポンプを引くことができず測定が完了できませんでした。ユニットの故障の可能性ががあります。	測定
吸い込み失敗	吸い込みを検知できませんでした。（設定による）	測定
校正期限切れ	校正期限が切れたハンディユニットで測定しました。	状態
整備期限切れ	整備期限が切れたコントローラユニットの車両に乗っています。	状態
認証失敗	認証が完了しませんでした。（設定時のみ）	測定
不正始動中	ロックされているのにも関わらず、車速を検知していません。（イグニッションを切るまで）オーバーライド、坂道発進などの運転している間を割り出すことができません。	状態
車速検知	車速を検知しています。	信号
イグニッション ON	イグニッションの信号を検知しています。	信号

ハードオーバーライド中	非常解除スイッチ（赤い非常ボタンまたは、コントロールユニットのスイッチ）がONになっています。	信号
ソフトオーバーライド中	パスワード入力による非常解除を行っています。	状態
再測定時間超過中	測定催促アナウンスを無視しています。	状態
表示器離脱	ディスプレイユニットが外されています。	信号
ハンディ離脱	ハンディユニットが外されています。	信号
運転可能中	車を運転できるように、ロックを解除しています。	状態
シリアル取得失敗	今後、使用される可能性があります。	状態
測定中	ハンディの電源が入っています。	信号
システムリブタイム中	測定による解除中です。	状態
撮影中	カメラを起動しています。	状態

7-4. データの集計方法例

①データの重複を防ぐため、一旦アプリケーションを終了し、データチェックを行ってください。

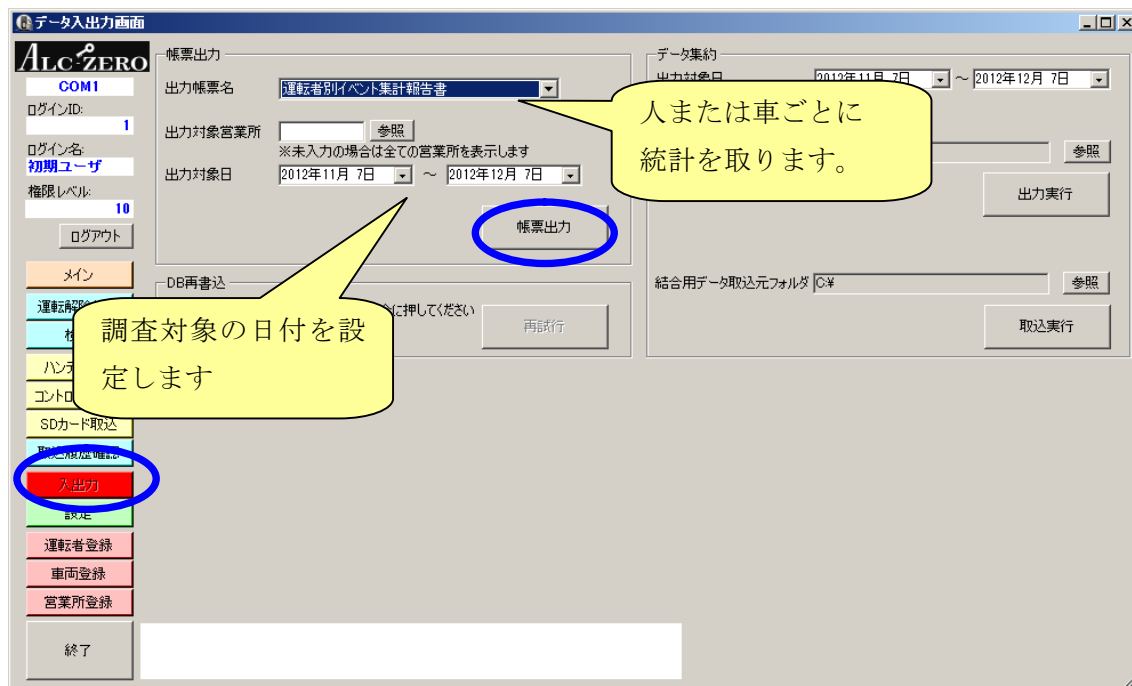


※終了する際、毎回中止ボタンを押している場合や、アプリケーションを起動し続けて大量のデータ取込みを行った場合は時間が掛かることがあります。チェックが終了するまで中止しないでください。

②コントローラユニットやハンディユニットに運転者・車両を紐付けていなかった可能性がある場合、登録されていないデータがないか確認します。(登録されていないデータは、人ごとの集計から外れます)

No.	コントローラ	ハンディ	車両ID	運転者	運転者名	測定値	発生日時*	イベント	状況	測定	取込日	進捗
21776	0051234	0003311	0	未登録	1 東海太郎		2012/12/05 10:16:36	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21777	0051234	0003311	0	未登録	1 東海太郎	0.000	2012/12/05 10:17:07	測定結果(OK)	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21778	0051234	0003311	0	未登録	1 東海太郎		2012/12/05 10:17:36	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21779	0051234	0003311	0	未登録	1 東海太郎		2012/12/05 10:19:03	エンジン停止	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21780	0051234	0003311	0	未登録	1 東海太郎		2012/12/05 10:19:22	エンジン始動	⇒	0003311	2012/12/05	未確認
21781	0051234	0003311	0	未登録	1 東海太郎						2/12/05	未確認
21783	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1 東京 あ 123...						2/12/05	未確認
21784	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1 東京 あ 123...						2/12/05	未確認
21785	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1 東京 あ 123...						2/12/05	未確認
21786	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1 東海太郎						2012/12/05	未確認
21787	0051234	0003311	1	東京 あ 123...	1 東海太郎		2012/12/05 10:27:42	測定開始	⇒	0003311	2012/12/05	未確認

③入出力メニューから帳票出力を指定します。



※営業所マスタを登録し、運転者や車両に営業所を登録しておけば、営業所ごとにレポートを出力することができます。

※進捗をテストデータにすると、集計から外すことができます。

④統計データが表示されます。

(大量のデータを扱うため、かなり時間がかかることがあります)

NO	測定回数	解除回数	ロック回数	ロック率	S解除回数	H解除回数	測定無視回数	不正始動回数
1	1	0	0	0%	0	0	0	0
2	1	0	0	0%	0	0	0	0
3	1	0	0	0%	0	0	0	0

測定回数 = 測定結果が表示された回数(ポンプエラーや吸込み失敗は含まれない)

解除回数 = 測定結果が正常のためエンジンがかけられる状態になった回数

ロック回数 = アルコール数値が検出され、運転を制御した回数

ロック率 = $\text{ロック回数} \div \text{測定回数} \times 100 (\%)$

S解除回数 = ソフトウェアオーバーライド(パスワード解除)を行った数

H解除回数 = ハードオーバーライド(非常ボタン/コンロースイッチ解除)を行った数

測定無視回数 = 再測定アナウンスを無視した回数

不正始動回数 = 「押し掛け」または「ハードオーバーライド」で運転を開始した回数

⑤オーバーライドや不正始動の等、どのような状況で行ったか確認します。

例)

整備(取付)作業中のテストだった。

事前に連絡をもらい、解除をするのに止むを得ない事情があった。

再測定しなくてもよいと許可した。

非常ボタンを間違えて押した。(運転を始めたなら不正始動と記録が表示されます)

⑥写真データが測定者と運転者が同一であることを確認します。



運転解除単位で表示される写真は、測定写真と、最初の運転写真です。

(2枚目以降は、撮影回数をクリックして確認してください)

8. 困ったときは

Q 「DBエラーが発生しました。」のメッセージが表示された。

A DB（データベース）ファイルは、特性上書き込みに失敗しやすい特性があります、その際には再度書き込み処理を行う必要があります。エラーメッセージの後に詳細情報を表示しますので、原因がわかる場合は解決してから入出力画面の「DB 再書込」を行ってください。

Q 閉じるボタン（×ボタン）を押すと、「取込みを中止または終了してから閉じてください。」とメッセージが表示された。

A 集約データ取込み中のため、強制終了できません。処理を終了するのを待つか、取込みの中止ボタンを押してから、アプリケーションを終了してください。

Q 「デバイスのメモリが異常です。」というメッセージが表示された。

A ハンディユニット、コントローラユニットのデータ保存領域に保存が失敗しました。別のユニットや SD カードから取込むことをお勧めします。また、強制的にユニットにある情報全てを取込むこともできます。但し、値の壊れたデータも取込まれ、全件拾い出すためにダウンロードに時間がかかります。
次回使用する際は、設定ツールからログ情報を初期化（再フォーマット）を行ってから使用してください。

Q ログ番号（No.）に欠番が生じている。

A 各ユニット間のデータ通信で、ノイズなどによって欠番が発生することがあります。また、保守などを行うために調査用のデータも作成するため、表示上の番号は欠番が生じます。この番号に着目していただきたい点は、コントローラ毎に見たときにログ番号順に並べた場合、その車両の時系列に確認することができるため表示されています。（発生日時でもお分かりいただけますが、時計の再設定などを行った場合に備えています）

Q SD カードからデータを取り込む際、ログファイルの保存件数が不正です。ログファイルが読み込めませんでした。などのエラーが出力される

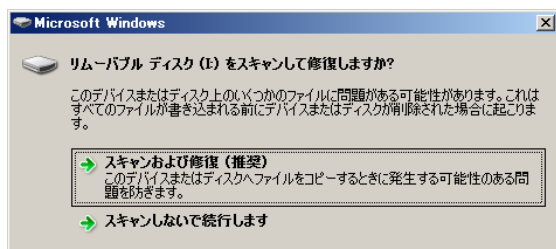
A SD カードを書き込みしている最中に抜く、振動のある中でカードに書き込むなどの状況下で、SD カードに保存が失敗することもあります。アプリケーションでは、可能な限り多少のエラーがあっても取り込めるように設計しておりますが、足りないデータがあると感じられたら、ハンディユニットからもデータの取込みをお願いします。また、再度 SD カードを利用する際は、設定ツールで再度フォーマットを行ってから使用していただくようお願いいたします。

Q ドライブやリムーバブルの安全な取り外しを行わなくてもいいのか。

A WINDOWS OS では、確実にカードにアクセスしていないことを確認するこの機能がありますが、特に USB で SD カードリーダーを接続している場合は、SD カードリーダーそのものが無効になってしまい、再度 USB を接続しなおさないと認識しない場合があります。そのため、利便性のため安全な取り外し機能を使用しないことをお勧めいたしますが、取り込み中は絶対にカードを取り外さないでください。（データが壊れることがあります。）

Q SD カードを接続すると下のような画面が表示される。

A 当社の SD カードのスロットは、汎用的なものを使用しているため、WINDOWS の機能として様々なメッセージが表示されることがあります。ディスプレイユニットは WINDOWS OS によらないデータの作成を行っているため、下記のようなエラーが出力されますが、無視していただいてもかまいません。



Q アプリケーションのバージョンを確認するには？

A ALC-ZERO のロゴマークにカーソルを合わせるか、設定画面の右上の青い数字をご確認ください。